

その光を点けられる方がここにおられます

ジェファソンビル インディアナ州 アメリカ合衆国

1963年12月29日 午前

1 兄弟ありがとうございます。(彼女に歌わせてください。)頭を下げましょう。我々の天のお父様、偉大なる永遠のこちら側で、再び集まり、素晴らしい主イエス・キリストを礼拝する特権を与えて下さって、今朝、善良さと憐れみの故に感謝します。あなたに感謝します、イエス様が罪の人生から私たちを贖うために、そして彼の義を通して私たちが持っているこの偉大なる遺産を私たちに与えるために地上に来てくださったからです。そして、今朝、私たちが彼の大使としてここにいます。この生命のパンを割くのを待っているこの会衆のために、聖霊がすべての言葉を刺激し、私たちが必要としているように、それを人々の心に置くようにしてください。これをイエスの御名でお願いします。アーメン。

座ってください。

2 私は確かにこれを考えています、そして今朝もあなたとここに立っていることは大きな特権です。申し訳ないのですが、人々の世話をするために、私たちがするための余地はありません。私たちの幕屋には十分な大きさがありません。そして、この休暇中、ここから私たちの家のあるツーソンの場所にいたことをとても感謝しています。そして、天候はある意味荒れていましたが、私たちはここにいて集会を開くことができ幸せでした。

さて、今夜は癒しの礼拝、または病人のための祈りがあることをお知らせしたいと思います。そして今、ビリーに話しました。彼は言いました、「まあ、あなたは何をしますか？」

私は言いました、「まあ、多分あなたは今夜いくつかのカードを配るべきでしょう、そうでないと人々はそうしないでしょう。」

そして、ほら、ここはとても込み合っています。私たちは彼らを一人ずつ連れてくる方法を知っているので、カードの番号で呼び出すことができ、混雑はありません。私たちは彼らを一人ずつ呼ぶだけで、私たちが彼らのために祈っている間、彼らに列を通過してもらうようにします。

3 だから、もしあなたが病気であるか、愛する人が病気で、彼らを連れてきたいなら、7時くらいか6時半くらいに来て、祈りのカードを手に入れて下さい。彼はドアのところにいます、またはあなたが入ってくると、彼がカードを配ってくれます。

そして、これはおそらく私が戻ってくる最後の時になるでしょう。しばらくの間、私は今非常にきついスケジュールになっているからです。今年の春の後半まではアメリカ国内にいる予定です。だから、私たちは多分、この夏の少し後でまた戻ってくる予定なのです。

もし主の御心ならば、私たちがそれを得るなら、私はそうしたいと思います。もしそれが空調されているなら、ここのその場所になると思います。私はビリーに尋ねるつもりでした。私がそれらの7つのラッパについて話したいと思います、もし主の御心ならば、ここで7つのラッパのための集会があります。それは、七つの教会時代、七つの封印、そして今は七つのラッパだからです。そして、人々が彼らの休暇を取っている6月のように、彼らに入ることができるように彼らに時間を与えることができるかもしれません。

4 そして、今朝病院から来られているシェパード兄弟に会えてうれしいです。先日彼に会いに出かけました。そして、シェパード姉妹、昨日あなたに電話することができませんでした。あなたが私に送ったその夢は、とても素晴らしいものでした。あなたが、それがそうであったように、空の中で、この白い馬の上のキリストを見ましたが、まだ縛られているのが分かります。しかし、それでも、それが消える前に、あなたの家族全員がそれを見るようになります。つまり、夢の解釈は、あなたの家族が亡くなる前に終わりの時の主の動きを見たということです。ですから、それは非常に霊的なことであり、あなたたち家族にとって非常に良い祝福でした。その家族は、彼らが今日いるところに来るためには、いくつかの大きな苦難から出てきたわけです。

5 そして今、私たちは今朝、少し悲しい側面があります。ここで会って以来、私たちの大切な友人の一人、そしてこのタバナクル来ているコートツ家。私たちは皆彼らを愛しています。彼らは東から、またはシカゴから来ていたのです。そしてビリー・ハビブ姉妹、そして彼女の姉妹、アームストロング、そしてすべての娘さんたち。彼らは…私は彼らが以前ナザレだったと思います、そして主に来ました、そして彼らは私たちの非常に貴重な友達です。

そして、コートツ兄弟と姉妹、彼らの父と母は、先日、西部から家に帰る途中でした、そして、誰かが道を滑って、そして即座にコートツ姉妹が亡くなりました。そして彼らが私がツーソンに居て電話をくれたときにそれ

について聞きました。そして私は彼女がちょうど私のために作ったお菓子の箱をテーブルの上に置いていました - すぐそこに置いていました。そして、あなたはそれが私をどのように感じさせたかを知りません。しかし、私は今朝、主に感謝することに、彼女は苦しむ必要はなかったと思います。彼女は年をとって、苦しむ必要はありませんでした。そして彼女は神のもとに行くために家に帰りました。

6 私はちょうど考えていて、ちょうど今、その部屋で彼女の二人の娘たちと話していました。コーツ兄弟は今朝ここにいます。彼はいくつかの肋骨の骨が折れました。そして私は彼をミズーリ州の入院していた病院に彼と話すために電話をかけました、そして彼の肋骨が折れていましたそして、しかし彼は確かに本物のクリスチャンとしての勇気を持っておられました。彼の小さな女王が死んでいないことを知っていて、彼女はキリストと共に永遠に生きています、そしてまた一緒にいる時が時間に来るでしょう。

ヨブは一度、「どうぞ、わたしを陰府にかくし、あなたの怒りのやむまで、潜ませ、わたしのために時を定めて、わたしを覚えてください。」(ヨブ記14:13参照:口語訳)と言いました。

7 神が自然の中で同じことをするのに気づいたことがありますか?この木々にある樹液のように、葉にしがみついているのです、そして「冬が来る前に、地球に注がれる怒り…ほら、ある時には、地球には冬がありませんでした。そして、至福千年では冬がなくなることは決してないでしょう。ですから、それは地への怒りです。それが起こったとき…ほら、その神の怒りが来る前に、憐れみの神はその樹液を地面の下、その木の根に送り、冬の怒りが過ぎるまでそれを保ち、それからそれを再び上げます、ほら、春になるとそうですね。

「どうぞ、わたしを陰府にかくし、あなたの怒りのやむまで、潜ませ、わたしのために時を定めて、わたしを覚えてください。」(ヨブ記14:13参照:口語訳)それが神が私たちの姉妹のためにされたことです。それは彼がすべてのクリスチャンのためになさることです。

8 コーツ兄弟、神の祝福がありますように。神の封印が問題の時に我々をふさいでくださることを知っていますごく幸せです。私は彼が何年も前に同じようなことを経験したので、彼が経験していることが分かります。しかし、私は…私たちはこの大きな川を一人ずつで渡らなければなりません。そして、私、そして私の時もあるのです、その日はそれほど遠くないでしょう。そしてあなたの時もいつか起こるのです。しかし、ダビデが言ったように、「わざわざを恐れませんが、あなたがわたしと共におられるからです。あなたのむちと、あなたのつえはわたしを慰めます。」(詩篇23:4抜粋参照:口語訳)

今、神様のもとに行った大切な姉妹、コート姉妹を記念して。私は…彼女へのちょっとした記念として、今朝、会衆にほんの少しの間立っていて欲しいのです。

頭を下げて、数日前に一度入って来た人を思い出しましょう。このタバナクルの中で、私たちの中におられて握手をした、素敵なクリスチャンが、主が私にしばらく前に見させてくれた場所に再び若い女性となって、彼女の家族を待っているのです。

9 我々の天のお父様、コーツ姉妹との思い出を感謝します。なんて尊い、愛しい姉妹でしょう!そして今、我々の人生のスパンの中を生きて終わる、それは私たちに与えられている時なので、川を渡らなければならぬ時が来るのです。彼女が苦しむ必要がなかったことを、あなたに感謝します。ここで彼女が苦しまなければならなかったことに敵対するものは何のないのです。彼女はただちに、神の腕にまっすぐ入って行きました。

彼女の夫、彼女の子供たちは今朝ここにいます、主よ、彼らの職務に戻るのです。るのですその勇敢な信仰をあなたどれほど感謝を示したらよいか!「地下牢、炎、剣の代わりに、私たちの信仰の父たちは、まだ生きています。」これらすべてのことをあなたに感謝します。

主よ、彼女の大切な魂を休ませてください。彼女は私たちの姉妹でした。悲しみ、涙が彼女の不在のために私たちの心に落ちます、しかし喜びは涙から湧き出て、彼女が死ぬことのできない不死の命の中で生きていることをあなたの言葉でによる慰めで私たちに知らせてください。そして、彼女が今彼女がいる場所には事故は決してなく、後に来る人々が彼女と再び会うのを待っているだけなのです。

コーツ兄弟を祝福してください。そして、娘たちと彼女の家族、主よ、そして彼女の愛する人達、そして彼女を愛するすべての人を祝福してください。そしていつの日か、父よ、私たちは病氣、悲しみ、死のない偉大なる向こう側で彼女に会う日が来ることを信じています。その時まで、私たち全員を良い健康に保ち、あなたに仕え、その日を楽しみにさせて下さい。イエス・キリストの御名によって、お願いいたします。アーメン。

ここタバナクルで私たちを扱う偉大な聖霊が御言葉を明かして、私たちが会う時まで彼女の勇敢な魂

を安らかに休ませてくださいますように。

10 さて、今朝ここは暖かくなっています。体が集まっているから体熱があるからです。

さて、早速お知らせをさせていただきます。時々ここでの私たちの礼拝の、朝が長いのは、それが理由なのです...1時間、1時間半、場合によっては2時間という長時間の礼拝を持ち続けることは、実際には適切ではありません。しかし、私がしていることは、私はここに帰って録音をしています、そしてこのテープは世界中に行きます。そして、それが私が...朝の長い時間に集まっている理由です。私がこれらのテープを作るためにここに来たからです。それは...?...彼らは...ほら、その部屋で、テープが作られているのがわかります。さて...そして、彼らは世界中のどこにでももたらされます。

11 さて、すぐに、御心ならば、ここを立つたらすぐにこれが御心ならば、明日の朝、いつかにアリゾナに戻る予定です。集会が近づいているからです。そしてそれはずっと南部に向かっていくのです。そして、あなた方ジョージア州、ミシシッピ州、テキサス州、アラバマ州の南部の人々から、私たちはすぐそのあたりに行って、フロリダまで、すぐに行きます。

ここからフェニックスに行き、次にカリフォルニアに行き、そしてダラスに戻って、そしておそらくサンアントニオに降りて、それはアラバマ、フロリダ、そしてそこを通って戻ってくると思います。だからそこで御心ならばその皆さんにまもなく会います。

12 だから、あなた方は私たちのために祈り続けて下さいね、そしてもし主が心に次の夏にここで数日集会を持つように置かれるようであれば、その時にはお知らせします。

シリーズの集会の予定があります。そして、ニューヨークにいるあなた方の多くはビジョンがいつ来るか知っています、それはスカンジナビアの国での集会があると言っていました。...そこでのスケジュールを覚えていますか?そして、私がニューヨークにいたときに、何らかの理由でそれらの集会のすべてがキャンセルされるという幻が来ました。そして、私がニューヨークにいたときに、私がここにいるあなた方の何人かに言ったのを覚えています。それはまさに起こったことなのです。彼らは皆同じ日を望んでいて、その建物を手に入れることができなかつたからです。

だから、それは6月にそこに小さなスポットを残すかもしれません。手遅れになるまえに、それは御心だと思われるので、ラッパの啓示についてここに戻ってこようと考えていました。分かりますか?したがって、すべてがちょうどよく働くことがわかります。それが私の心にあつたので、それは主が私たちにしてほしいと望んでいることかもしれません。

13 今、私はあなたがお互いにそのホールなどで席を変えているのを見ています。私たちはちょうど着席する場所があるように望んでいます。

そして今、私たちがそれらのラッパの啓示を持っているとき、それは...私たちは高校の体育館を使わせてもらいたいのです。私はそれが5500席あると思います、そして私たちにも、私たちが説教している間、誰もが席を持ち、座って静かに耳を傾ける機会があります。

または、これ、ラッパの啓示、それらは非常に素晴らしいです。先日それを見ていました。第6の封印で、すべての7つのラッパがその第6の封印のすぐ上で鳴るのを見てください、第7の封印はキリストの再来の直前に開かれるのです。

14 そして、今夜、私は癒しの礼拝の直前に話したい非常に重要なメッセージを持っています。そして、あなた方がここにおいて、留まるつもりなら、まあ、可能であれば少しでも早く始めますねというのは、プレイヤーラインをする予定だからです。私はあまり長くは説教しませんが、しばらくの間、教会に言いたいことがありました。そして、ある時点であなたが何かを実行している方法に関してある意味皆さんにそれを知らせたいのです。そして私たちが立っているところ、そして聖書を通して私の知る限り最高のものです。

さて、私と一緒に今朝に向きを変えて欲しいのです。もしあなたが私たちがどこから読んでいるのかに印をつけたいあるいは記録したいならば、イザヤ書です。そしてイザヤ書の42章から読んでいきたいと思っています。

15 今朝も、ドーフ兄弟がここに一緒に座っておられて、とても幸せです。あなた方が聖書を開いている間、...ご存知のように、彼らは彼が先日ここシュリーブポートに住むつもりはないと思っていました。そして、彼は確かに信仰を得たのです。はい、彼はそこから登り始めたのです。主が彼を祝福されます...?...ほら、ドーフ

兄弟は91歳で。心不全を患いその上に心臓発作を起こしていました。そして、まさにその医者が、彼が生きる方法は何もないと見ていました。ドーフ兄弟は生きており、その医者は死にました。分かりますか？なぜなら、彼は見て、ドーフ兄弟はここに座っています。

さて、心不全と心臓発作を起こした91歳の男性。そしてそこに、私がそこに上ってきたとき、彼が通りを歩いてきたのを見ました。教会で彼を見ました。そして私は行き、酸素テントの下で彼に言いました、「主の御名によって、私はあなたと握手します…教会でまた会いましょう、そして路上で握手します。」

次の礼拝で、ここに彼はいて、教会のこのすぐ後ろに座っていました。そして、私はルイビルに行き、そのブルーボアカフェテリアで食事をしました。そして、私が車を降りたちょうどそのとき通りを始めました、ここでドーフ兄弟が通りを歩いてきました。そこにおられたのです、まさに完璧でした。つまりそのように主が彼を祝福されたわけです。

16 さて、今夜我々は、癒しやその他の事について特に今晚についていくつかの本当に傑出したことを話すつもりです。

しかし、今、私は今テープを手に入れることができるように、そしてそれらをオンにする準備をします、イザヤ書から42章の1節から7節までを読み始めたいと思います。そして、マタイの第4章の、15節と16節から始めようと信じています。

さて、イザヤ書の第42章から、私たちは読みます。

1 わたしの支持するわがしもべ、わたしの喜ぶわが選び人を見よ。わたしはわが霊を彼に与えた。彼はもろもろの国びとに道をしめす。

2 彼は叫ぶことなく、声をあげることなく、その声をちまたに聞えさせず、

また傷ついた草を折ることなく、ほのぐらい灯心を消すことなく、真実をもって道をしめす。

彼は衰えず、落胆せず、ついに道を地に確立する。海沿いの国々はその教を待ち望む。

天を創造してこれをのべ、地とそれに生ずるものをひらき、その上の民に息を与え、その中を歩む者に霊を与えられる主なる神はこう言われる、

主なるわたしは正義をもってあなたを召した。わたしはあなたの手をとり、あなたを守った。わたしはあなたを民の契約とし、もろもろの国びと(異邦人)の光として与え、

盲人の目を開き、囚人を地下の獄屋から出し、暗きに座する者を獄屋から出させる。

17 さて、マタイの福音書第4章で、イザヤの預言の成就を読みたいと思います。マタイの第4章で、私が読み始めます。できれば、15節ではなく12節から始めましょう。

12 さて、イエスはヨハネが捕えられたと聞いて、ガリラヤへ退かれた。

13 そしてナザレを去り、ゼブルンとナフタリとの地方にある海べの町カペナウムに行き住まわれた。

14 これは預言者イザヤによって言われた言が、成就するのである。

「ゼブルンの地、ナフタリの地、海に沿う地方、ヨルダンの向こうの地、異邦人のガリラヤ、暗黒の中に住んでいる民は大いなる光を見、死の地、死の陰に住んでいる人々に、光がのぼった。

この時からイエスは教を宣べはじめて言われた、「悔い改めよ、天国は近づいた」。

18 主が御言葉の朗読に祝福を加えてくださいますように！そして今、誰かが言っているので聞いた奇妙な小さなテキストはこうだったのです、それでも私はこれをテキストに取りたいです：ここに光をつけることができる人がいます。そして今、私たちは光について話します。

これは、今までにお話しした3つのテーマに続くものです。

そのうちの一人、ツーソンまたはフェニックスで、なぜイエスがベツレヘムを經由して来られたのかについて。彼はベツレヘムなので、それは彼でなければなりません。ベツレヘム!B-e-t-hは「家」です。e-1、「神」; e-h-e-mは「パン」です。「神のパンの家。」そして、キリストに生まれたクリスチャンはみな、神のパンの家ベツレヘムに生まれました。

19 それから、そこで、ダビデ類似系は、彼の民からの破門の時の逃亡者でした。彼は拒否されたのでした。そしてベツレヘムは包囲され、ペリシテ人はベツレヘムの周りに駐留していました。そして、ダビデ、キリストの逃亡者、今日の教会のタイプ。ご覧ください、キリストは彼自身の今日の教会から逃亡しています。彼らは…逃亡者とは何かに拒否されるものです。そしてダビデは拒否されましたが、彼は王になるために油注がれました。しかし、預言者が彼に油を注いでいました。

そしてこの間、彼は彼自身のからの逃亡者でありながら、多くの勇敢な異邦人に迎えられました。彼らのうちの1人は、1日に、槍あるいは剣で800人を殺しました。そして雪の日に、もう一人は穴に飛び込んでライオンを殺しました。そして、そして彼らは豆やエンドウ豆というようなレンズ豆を集めていました、そしてそして彼ら全員が逃げました、そして彼は腕が疲れるまで立って人を殺しました。彼らはまた、ゴリアテの巨大な兄弟たちを殺しました。

彼らは彼が権力を握る事五なることを知っていたのです、ダビデを抱いていた勇敢な人。彼らは、誰が何を言ってもわかっていたのです。神がダビデに油注がれていたこと、そして彼らはそれを知っていたのです。彼らは異邦人でした。彼らがどれほど彼を裏切ったとしても、彼らはまだ彼が権力を握っていることを知っていました。そしてある日…

20 その今日における類似系は、キリストにおいて逃亡者です。あなたは「キリスト、逃亡者?」と言うでしょう。聖書によると、私たちは…神はこれらの7つの教会時代を通して勇敢に私たちを選び取られてきました。このラオデキア教会時代において、キリストは彼の教会の外にいる逃亡者でした、拒絶されていて、再び戻ろうとしました。分かりますか?彼は彼自身の教会においての逃亡者です。そして、彼が逃亡者である理由は、彼はみことばであり、彼らがみことばを入れないからです。代わりに、彼らは信条を受け入れました。

そして、私たちは、この大きな苦悩の中で、勇敢な男たち、つまりダビデの周りの異邦人を見つけました。

21 あなたがベツレヘムがどのように形成されたかに気づいたら。その話題に乗りたくないのですが、しかしベツレヘムがどのように…実は、娼婦であるラハブ、彼女の息子がベツレヘムを設立した人でした。それは小麦生産の中心地で、そこにはたくさんのきれいな水がありました。そして彼は小さな町を設立しました。そして、それはすべての都市の中で最も小さかったのです。というのは、預言者がこう告げていました。『ユダの地、ベツレヘムよ、おまえはユダの君たちの中で、決して最も小さいものではない。おまえの中からひとりの君が出て、わが民イスラエルの牧者となるであろう』(マタイ2:6抜粋参照:口語訳)小さきものから出る。

ダビデ、彼がそこで選ばれたとき。偉大で立派な兄弟たちは、預言者サムエルが油そそぐために上ったとき、全員がそこに立っていました。偉大な勇敢な人は、見た目は、見栄えの良い王のように見えました。しかし、まさに拒絶されたもの、それが彼に油を注がれたダビデでした。拒絶された都市は、キリストが…

拒否されたのは、キリストが選ぶものは拒否されたものなのでした。

22 それから、彼がオベデに来た後、私たちは見つけます。彼の後にはボアズが来ました。そして、そこには別の異邦人が来ており、彼はルツによって生まれたのです。そして、そこからエッサイが生まれるのです。そしてエッサイからダビデは生まれました。そして、そこに小さな山腹に馬小屋があり、そこで王の王、イエス・キリスト、ダビデの子、彼の霊的な息子が生まれました。

さて、彼は、ダビデ自身がこの街で生まれ、この小さな場所に来なければなりません。そして、それは「神のパンの家」を意味するベツレヘムと呼ばれていました。そして、彼は神のパンの家です。

その日、丘の上に横たわっているダビデは、彼を見下ろし、ペリシテ人がそのように駐留していたのを見て、熱くなり喉が渇いたに違いありません。彼は言いました、「ああ、もし私とその井戸からもう一度一杯だけ飲めたら!」とどうして、彼の考えの最も少ないものは彼への命令でした、彼を愛した彼らからの。

23 ですから、今日でも、イエスの最も少ない考え、または御言葉については、イエスを愛する異邦人への命令であるのです。たとえ彼がどんなに拒絶されても、彼が権力を握っているのを私たちは知っているから

です。天と地は滅びますが、これはすべての天と地が消えたときでも同じように君臨します。そして、私たちは彼が権力を握るのを知っています、なぜならそれが起こらないようにするものは何もないからです。[ブラナム兄弟が彼の聖書をなでる—編集]これはキリストであり、彼の啓示であり、これは御言葉が言うとおりに起こるのです。なぜなら、彼こそが御言葉だからです。そして、そこにある彼の最低限の命令は、たとえそれがどんなに少なくとも、それが「再バプテスマを受ける」か、それが何であれ、私たちはとにかくそれをするのです。それは彼の命令です。

24 そして、ダビデの考えの中で最も控えめなものは、それらの異邦人への命令でした。彼らは、今日の異邦人教会の一種だからです。勇敢な男!ほら、ダビデのそばに立った人たちは異邦人でしたが、勇敢な人でした。彼らは大胆不敵でした。彼らは恐れが何であるかさえ知りませんでした。

一人の男が剣を取り、800人の男と彼の周りのすべてを殺しました。なんて人なんだ!彼らの一人...

もう一人別の人。長い槍を持ってエジプトの戦士が駆け上がりました。彼は手に棒しかを持っていませんでした。彼は棒を取り、槍を手から叩き出した。彼の手から槍を取り、彼自身を殺した。つまりは自殺した。分かりますか?

それらの巨人の一人はそうのように14インチの長さの指を持っていました。さて、14インチ、指は手と同じ長さで、閉じています。それを開くと、28インチの手になります。そして槍で!そしてそこに飛び込んで彼を殺しました。分かりますか?なんで?彼は勇敢な男で、彼が権力を握っているのを知っていた油そそがれた者を見ていた異邦人でした。

25 彼らがダビデに対してとても勇敢であることに気づきましたか、ダビデがついに権力を握ったとき、彼は彼らを都市を支配させましたか?イエス様も同じことを約束されなかったですか?同じこと、彼らを支配者にすること。

そしてそこでの、ダビデの望みは新鮮な飲み物を飲むことでした。彼はおそらくそこに古い温かい停滞した水があり、彼はそれを飲んでいました。しかし、彼はたまたま神のパンの家であるベツレヘムでのその新鮮な水を思い起こしました。そして彼は言いました、「もし私とその井戸から一杯だけ飲めば!」そして、それらの男は剣を抜いてペリシテ人の15マイルと戦ったのです、それは彼が彼らに頼んだからではなく、彼らが彼がそれを望んでいるのを知っていたからでした。そして彼らはペリシテ人をその井戸までの距離全体で切りました。2人は戦いましたが、もう1人は水の入ったバケツを得ました。そして彼らはずっと前に戻って戦い、それをダビデに手渡しました。勇敢さについて話しているのです!

その敬虔な男であるダビデは、「神は彼らの命を危険にさらしたこれらの友人から私がそれを飲むことを禁じられている」と言いました。そして彼は飲み物をささげた。それを地面に注ぎ、主に捧げていたのです。「それを主に与えなさい。彼がそれにふさわしい方で私ではないのです。」彼らは...

彼自身の永遠の命によってキリストの中にあるキリストそのもののタイプなのです。打たれた岩は、このみことばが生きられるように、私たちへの罪の捧げ物として、彼のいのちを地に注がれたのです。

26 ああ、異邦人、私が言ったように、誰が私と一緒にその剣を抜くのですか?彼は今朝、新鮮な飲み物を望んでいます。この古い停滞した教会信条や私たちが浮気しているものを望んでいるではありません。彼は神の御言葉のすべてを信じる純粋な信仰を望まれています。井戸に行って飲み物と飲み物を取り戻そう。信条や宗派に基づいて構築されていない礼拝。しかし、真の霊的なキリストが我々の中におられ、彼の命が彼の望まれるように生きている礼拝は、信条やその他の物はないのです。ただ、そのように彼とともにいきましょう。

27 さて、次はヨセフの時代の神が夢を通して人々をどのように扱われたかについてでした。気づきましたか?夢は二次的なものなのです。それは二次的に神が働く方法なのです。ある人々は何の意味もない夢を持つことが出来ます。あなたは食べ過ぎて悪夢を見ることが出来ます。そして夢は二次的な方法なのです。分かりますか?しかし、なぜ神は二次的な方法でご自身の息子を守られたのでしょうか?彼はヨセフに現れました。彼自身の子供の幸せのために、彼は2次的方法でそれを送ったのです。それについて考えたことはありますか?なぜなら、その土地には預言者がいませんでした。彼は夢を通して働かなければなりません。そして、それは解釈されなければならない夢ではありませんでした。主の使が夢に現れて言った、「ダビデの子ヨセフよ、心配しないでマリヤを妻として迎えるがよい。その胎内に宿っているものは聖霊によるのである。」(マタイによる福音書1:20抜粋参照:口語訳)

28 それが起こるのは珍しいことでした。ヨセフは正義の人であり、彼は…それは珍しいことでした。神は珍しいことをされるのです。そして、珍しいことは理解するのが難しいのです。それが今日、真理を理解するのがとても難しい理由です。それはとても珍しいからです。男性を知らずに赤ん坊を産む女性は、とても珍しいことでした。

しかし、あなたが正直で誠実であるならば、神はまだ夢の中であなたに現れることができます。それはあなたが持っているものは何でも、それがあなたの心であるか、あなたが口笛を吹く、歌う、証することができるか、あなたができることが何でもできるかどうかを示すのです、もしあなた全体がか海にコミットしているならば、神はもしあなたが彼にそうさせるならば、それをお使いになるのです。

29 そして、その翌日の夜にここで、ネヴィル兄弟は「脱出」をテーマに説教しました。—その人がどのように脱出したかについて。そして、私はそれがあある種注目に値すると思いました。

そして今朝、聖霊は私に光の主題、そのまさに次に対処するようにされているように見えるのです。さて、最初に、キリストの生涯が飼い葉桶でどのように始まったかについて、私たちはテキストで再びそれを取り上げています。そして彼はそれを知りませんでした。私はそれを知りませんでした。ここでも同じことが言えます。ほら、ちょうど、ぴったり合っていて、次は彼が彼の働きに入るところです。そして今夜、私たちはそれとうまく調和する何かを得ました、今夜、主の御心にまっすぐ進みましょう。

30 さて、素晴らしい光!「死の陰の地域に座っていた異邦人たち、偉大な光が彼らの間に現れました。ザブロンとネフタリムでは、異邦人のガリラヤのところで、偉大なる光、彼らは偉大な光を見ました。」

さて、最初の光は、聖書の中にあります。創世記1:3にあります。それは、神の語られた言葉が光を作ったのです。神は「光あれ」と言われました、創世記1:3、そして光がありました。

さて、覚えておいてください、光は語られた神の言葉によってもたらされます。そして光は立証であり、彼が語られた主題は光です。光が飛ぶ時、それを示しているのです。神は「光あれ」と言われました。光はありませんでした、そして彼は、「光あれ」と言われ、そして、光がありました。それは証明です。光は彼の語られた言葉の立証なのです。今日も同じことなのです、彼の語られた言葉の立証。

31 さて、あなたが彼の言葉が立証されている、または、言い換えれば、知らされ、証明されているのを見たとき、それは彼の話された言葉の光なのです。そして、光がなければ、何も光なしで生きることはできません。今日、太陽の光、なしに地上には何も命はないのです、植物でもなんでも。そして神の御子なしには、永遠のいのちはありません。わかりますか?彼は光なのです。

今、私たちは今私たちが学んでいる中で、この光に関して、見出していると信じています。「地は形なく」(創世記1:2抜粋参照:口語訳)

さて、今日私たちの学校などで、何百万年も前の世界に関して聖書を非難し、それを間違っていると主張しようとする人がいます。彼らはただ聖書を一度も読んだことがないのです。それだけです。なぜなら、聖書は世界が何年経っているかを教えてくれているからです。聖書には、「初めに神は天と地を創造された」と書かれているわけです。ピリオド!いつ、どのように、それが起こっているのかはわかりません。さて、それが始めなわけです。そして、それはピリオドであり、それでその文は終わりなのです。

32 「初めに神は天と地を創造された。」それは1億年、または10億年、あるいはそれが何であったにせよ。そして、彼がどのようにそれをしたかは、私ではなく、彼が知り、見るか次第なのです。

しかし、世はまあ、「地は形なく、むなく、やみが淵のおもてにあり、。そして神は、「神の霊が水のおもてをおおっていた」と言われました。そして「光あれ」と言われたのでした。

今、私は太陽などがすでに存在していたと信じています、私は信じています、月も。それを説明するために、創世記3章に進むと…しかし、私は、ここで何があったのか、その世界、それを使用するつもりだったのでそしてそれゆえに、…そしてそれは入りました。地全体に霧と靄がかかって、暗くなりました。そして神は「光あれ」と言われ、暗闇が消え、雲一つない空がありました。

33 そして私はそれが神の物事のやり方だと信じています。彼は…聖書の次の節で4番目の節でこう言われています。「神はその光を見て、良しとされた。神はその光とやみとを分けられた」神は光を昼と名づけ、やみを夜と名づけられた。夕となり、また朝となった。第一日である。そして、神の言葉は常に光を闇から分離します。わかりますか?闇から光を分けるのが御言葉なのですよ。

神が何かを使用する準備ができると、神はこれまで同じことをされてきたわけです。彼がこの古い星、またはそれが何であれ、この世を使う準備ができたのと同様に、彼は光を闇から切り離さなければなりません。彼が去る準備ができた時に、あるグループの人々を使うために、彼は光を闇から切り離さなければなりません。彼がある個人を使う準備ができると、光を闇から切り離します。分かりますか？

光は神から来ます。そして…覚えておいてください、光は彼の話した言葉によってもたらされました。神のことばが、光がないときに「光をあれ」と言われ、光を送って闇と光を分けられたのです。

この命令の言葉は太陽を照らすことができるように空を晴らしました。そして今日の彼の言葉は、すべての不信仰の空気を取り除きます。

34 私は今朝、説教壇に着く直前にそこで11人の方々と面接をしていました。とても悪い…

先日、私の小さな友達のジム・プール、彼の小さな息子さん、彼らは彼が心臓発作を起こしたとっていて、彼を病院に連れて行きました。それは喘息の状態、それがその小さな子に起こっていたことでした。彼は…彼の小さな心が飛び跳ねた状態の呼吸をしており、そして彼は叫んでいて息をすることができませんでした。そして、その小さな子は彼がここに来たときに死にかけているように見えました。そして私は病院に行くことを決めていたのです。彼らは彼をここに連れてきました。そして彼の小さな手を握って、言いました、「それがやった、麻疹が子供を襲った。そして、はしか、発熱がその小さな子を襲った。あなたは彼を見ています。数日後にまた会いたいです。彼ははしかでいっぱいになります。」そして、ここで彼ははしかでいっぱいですね。分かりますか？

35 さて、何ですか？神は闇を光から、または光を闇から分離します。そして彼は死を命から切り離し、彼の言葉によってそれを行われます。彼の言葉は常にこれをもたらすものです。

さて、光！さて、今、その種子はすでに地上にありました。私は神がその種を植えたと信じています。そして太陽がその種に到達できる限り、その種が成長し始めるのです。そして、それが種子がすでに地上にあったので、これらのものを生み出すのに数日しかかからなかった理由なわけです。それに必要だったのは光だけでした。

そして、それが今日の神のあり方なのです。彼の種はすでにここにあり、彼の御言葉。唯一必要なのは、それに光を点けることだけです。そして彼はその光です、なぜなら彼はみことばだからです。御言葉と光は同じものです。そこにある命は、みことばの光です。ほら、命です。生命の胚芽は穀物の中にあり、穀物は…生命は穀物の殻を壊して、穀物から命を引き出すものです。それがキリストのやり方で、御言葉がすることになっていることを御言葉にさせるのです。小麦の穀物の生命と同様に、それが何であれ、それが小麦に含まれている命なので、小麦に本来の働きをさせます。一生！

36 ですから、命は神のみことばによってのみ明らかになります。命は、神のみことばが顕現することによってのみもたらされます。それが本にある限り、このように、それはまだ疑われることになり得るのです。しかし、それが顕現する時、そしてあなたはそれが語ったことの産物が顕現されるのを見ます。それは光が付くこと一御言葉の上です。分かりますか？それがもたらすものは…みことばがそう語っていました、それから、それが起こる時、それこそが光の中の命、光が命をもたらすことなのです。光は命をもたらします。

ここに小麦を植えてください、それは…そしてそれを地下室に置き、それを覆い尽くすと、それは何ももたらさないでしょう。なぜなら、それは不可能だからです。そこには光がありません。しかし、光が当たるとすぐに、発芽した種子であれば命が吹き込まれます。

それと同じことがみことばにもあります。つまり、みことばは神であり、命がそれを打つとき、それはそれをもたらす…光が当たると、再び、みことばに命を齎すのです。すべての時代において常にそうでした。ああ、どれほど、私たちがこれらの素晴らしいことを感謝しているでしょう、いかにして立証されたみことばが話し言葉の光となっているかを。分かりますか？

神は言われました、「光あれ」と。

37 さて、もし彼がそれを言っただけで光が来なかったらどうしますか？そうすると、我々にはそれが真実かどうかはわかりません。彼がすべて正しいのかどうかはわかりません。神が神であるかどうかはわかりません。神が「存在せよ」と言うだけで、存在しなかったからです。分かりますか？

ですから、神が語られ、私たちがそれを見るとき、それは輝く光が進み、それこそが真理のことばなので

す。分かりますか?光と生命があります。

すべての自然な生命は彼の語られた言葉によってもたらされます。そして太陽は彼の話された言葉です。彼は天で日のために大なる光を創造されたので、そして夜のためにより少ない光を創造したと彼は言われました。分かりますか?そして、すべての自然な生命は神の語られた言葉によってもたらされなければなりません。神の語られた言葉の光が照らされずに花は成長することはできません。太陽はs-u-nであり、神が「光をあれ」と語られた神の言葉です。分かりますか?それは神の語られた命なのです。そして、どれほど多く、人が試みようとも、これを言っても、それとも他の人でも、それは同じままなのです。あなたはその太陽がなければならないのです、つまり、自然な生命は、語られた神の言葉によってのみ来ることができます。

38 そして、霊的な生命、永遠の生命は、神の語られていた生命の言葉によってのみ来ることができます。この時の命はS-O-N(御子)でした。彼には光があり、彼には闇はありません。そして彼は神の語られた光です。そうですか?[会衆は「アーメン」と言います。— 編集。]神の語られた言葉。なぜなら、「初めに言葉があった、言葉は神と共にあった、言葉は神であった」。そしてそれは永遠の神なのです。分かりますか?

そして、御言葉を打ち、それを生かすには、神の光が必要です。ここに彼が話したものがあります[ブランナム兄弟が彼の聖書を撫でます—編集]、今、光を輝かせてください!アーメン!光を輝かせてください、そして光はすべての言葉をその季節に従った正しい位置にもたらします。アーメン!ああ!その時が来たらあなたも見るのです。

時々、その穀物は、種子のように、冬に小麦が地面に播種された冬のように、地中に休眠状態で横たわっているわけです。しかし、その太陽がちょうどよい状態になると、それは命を与えられるのです。分かりますか?そして、それは太陽なしでは生きられません。

そして神はすべての時代とすべての時のために約束をされました。そして、光が正しくなり、それを照らすとき、それは御言葉が語ったとおりのことを生み出します。彼は光であり、命だからです。

39 神の言葉は聖書によってのみもたらされます。聖書は、それがイエス・キリストの啓示であると聖書が言っているのです、神の御子の印刷された形なのです。それはキリストを通してご自身を顕かにされた神ご自身であり、キリストはみことばなのです。そして、神の光がそのみことばを照らし、それを立証し、神がいのち、永遠のいのちをまだ語っていることを証明するには、それが必要なのです。彼は自然な光に語り、命をもたらします。命は光によってのみ来れるのです、御言葉が顕現されるかあるいは肉体を取られるのです。すべての約束が聖書の中で明らかになるのは、みことばであるイエス・キリストが私たちの間で肉体を取られた時でした。神は常に人を通して働かれます。人間は神の臣下なのです。

さて、ここが少し暖くなった場合は、窓を下ろすか、必要に応じて、炉を消してください。たぶん、用務員が炉を少し弱くするでしょう。多くの方が暑く感じているようです。そして、ここに立っていても暑く感じているのです、覚えておいてください。寒いのではなく暖かいので嬉しいのです。なぜなら私は暖かい方が好きだからです。私は…暖かさは常に光を与え、命を齎します、それには火が必要なのです。

40 さて、「肉体を取った」ことに注目してください。御言葉が肉体を取られたときに、それは現わされたのでした。同様に、みことばを取り、それを正しい位置に置き、正しい種類の地面に置くと、それが生まれます。その種はその種類の物を生み出すでしょう。そして、みことばは正しい心にもたらされると、それ自体が現れるのです。それは光をもたらすでしょう。それはそれを打ち破るでしょう。よし

自然のもの、自然のもの、霊的なものは、神の光なしに生きることができません。その時、生命は光によってのみ来ることが出来るのです。自然のものや霊的なものは神の光なしに生きることができません。考えてみてください。よししかし、彼が私たちに光を送って、見て、そしてこれらすべてのことをするとき、私たちはそれを拒否します。さて、それが衰れなところなのです。光が私たちに送られるときに光が拒絶されるときです。

41 さて、今日のある人が「太陽のようなものがあるということを拒否します。太陽があるなんて信じられない?」と言ったとしたら。そして彼は地下室に駆け込み、そしてすべてのドアを閉めて暗闇の中に戻り、「太陽のようなものはありません。光なんてものはありません。」あなたは、すぐに、その人に何か精神的に問題があることが分かるはずですが。分かりますか?彼が暗い地下室に戻り、神から与えられた光の恩恵を受け入れることを拒否したとき、何かがおかしいのです。彼に何か問題があります。彼はその暖かい光線を望んでいません。彼はその健康を与える物質を望んでいません。彼はその光が入りたくないのです。彼はむしろ暗闇の中で座っていたいのです。その人の精神的に普通に言って何かがおかしいことが分かるわけです。

42 そして私はこれをすべての愛と敬意を込めて言います。それで、彼の信条の宗派に戻ってそれが彼の直前に輝いているときに聖書の光を見ることを拒否する人には精神的に何か問題がありますね。彼には何か問題があります。ほら、彼の信条と形式に戻り、ドアを閉めてこう言います。「そのようなものはありません。奇跡の時代は過ぎ去りました。神の癒しのようなものはありません、これらのことはありません。それは使徒のためでした。」その人は霊的に狂っています。分かりますか？彼に何か問題があります。彼は一はカーテンを下ろして、彼の上に降りてくるのが可能な聖霊を拒否しました。彼ができるなら…

「もしあなたがわたしの内にあり、わたしの言葉があなたの中にあるならば、この言葉に輝く光が、あなたが何をするか尋ねるであろう。」分かりますか？分かりますか？

43 神が私たちに与えられた神の言葉によって与えられた源を拒否するということは何かがおかしいのです。「義人は信仰によって生きる」

「そして人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出るすべてのことばによって生きるであろう。みことばの一部ではなく、「神の口から出るすべてのことば」そして、人がそれをただ拒否するとき、その人には何か問題があります。彼の経験に何か問題があり、彼は神を愛していると主張しながら神を拒否しています。その人に何かの問題があります。私たちは疑いの余地なくそれを知っています。彼はそれを拒否し、この場所にぶつかり、こう言います。「さて、私はただ...私はそれについて何も知りたくありません。これらの事については何も言わないでください。私はそれについて何も信じません。あなた、あなたが何を言っても関係ありません！」

44 ある人が、ちょっと前に言いました。私はあなた方にそのことを話していました。彼は言いました、「あなたが50人の癌患者を連れて来て、50人の医者にそれらを証言するように連れて来ておかまいません、私は信じていません。あなたが死者をよみがえらせても、私は気にしません、私はそれを信じません。」ほら、その人に何か問題があります。そこには問題があります。そして、そして、それでもなお、その男はミニスターだとみなされていたのでした。

しかし、その組織が信じていないからといって、それが神の力ではないと信じないでください(御言葉)それはまさにそれが言ったことを意味しているのです、その男は組織の古いかび臭い、汚く穢れた地下室に戻っていくだけのことで、そして聖霊とイエス・キリストの暖かさと命を与える光線を拒否します。イエスキリストは、昨日も今日もいつまでも変わることがない方なのです。だから、その人には何か問題があります。分かりますか？

彼はむしろ、「イエス・キリストは昨日も今日もいつまでも変わることがない方である」と言った神の光と聖書の光の中で生きるよりも、その必然、暗闇などの中で生きたいと思っています。私がした業をあなたもするであろう。そればかりか、もっと大きいわざをするであろう。わたしが父のみもとに行くからである。」(ヨハネ 14:12 抜粋参照：口語訳)その人には何か問題があります。全く疑いもなく何か間違っているのです。

45 そして、世界中のどこにいても、これを聞いている人に。あなたが神を愛し、神の言葉を拒否するとあなたが言うとき、あなたの経験には何か問題があるのです。何かがあります。あなたはそのままに...拒否します...教会がその状態にあり、神が約束されたように物事を行うことができないのも不思議ではありません。それはあなたが御言葉を受けることも、光の中を歩くことさえしないからなのです。聖書は、「光の中を歩きましょう。神の御子であるイエス・キリストの血潮が、すべての罪から私たちを清めます」と述べています。罪は「不信仰」です。

そして、私たちが神から与えられたその時の光の中を歩いているなら、神はその時のために与えられたそのみことばを取って、それを立証します。

創世記1:3で彼がしたように、神は「光あれ」と言われた。すると光があつた。と言われました。彼の言葉が出て行き、光がそれに続き、霧を取り除きました。そして、闇が淵に行き、光が反対側に輝いていました。

それが今日の神のやり方です。彼はこの時代のために御言葉を送り、聖霊が来てその御言葉を生かします。そして、闇は彼らの信条と宗派に続きますが、光が輝くのは、神の言葉が真実であると立証されているからです。さて、それについて架空のものは何もありません。それはまさに聖書的なものです。よし

46 さて、私たちは、賢者、古の賢者が、神から与えられた実体が続いていることがわかります。彼らは神のことばに従い、光のもとに行きました。なぜなら御言葉が命を齎したからでした。今、あなたは「彼らはどのように従ったのですか？」と言います。まあ、彼らは、ある意味、賢者でした、私たちは理解しています。

そして、我々は、預言者であるバラムは、民数記24:17に戻ると、バラム自身が一種の賢者であることがわかりました。彼は本当に預言者でした、そして彼はここで預言し、星がヤコブから立ち上がると言いました。

そして、これらの賢者たちは、神のことばがヤコブから出て行くと言ったのを見たとき、彼らは永遠の光の源へのその小さな神から与えられた印に従いました。

ですから、今日、賢者は、信条に盲目でなく、神の力の豊かさがこの時代に咲くのをみるまで、神から与えられた言葉に従います。彼ら、それを見て、彼らはそれがここに聖書にあることを知っています。神はこの時代のためにそれを約束されました。

47 観測所がいくつあっても、他にいくつものことがあるので、賢明な人に「なぜ、あなたは頭から離れているのだ!」と言いました。2年間にわたって彼らは旅をしていた。彼らは多くの国を歩いていきました、そして、彼らは「あなたはどこへ行くのですか?」と言いました。

「ああ、私たちは彼の東の星を見ました、そして私たちは彼を礼拝しに来るようになります。」

そして、彼らが宗派の本部であるエルサレムで並んだとき、彼らには答えがありませんでした。彼らは通りを行ったり来たりして、「ユダヤ人の王である彼はどこにいるのですか?」と叫びました。彼らはそれについて何も知りませんでした。

それで見つけるために彼らは御言葉を呼び出しました。彼らは永遠の光に彼らを導くためにその星を知り彼らは従っていきました。「私たちをあなたの完全な光に導いてください。」そして御言葉はあなたを光に導くものであり、光は御言葉を立証するものです。注目してください、彼らは賢者でした。

48 そして賢者は今日において「この世の知恵は神にとっては愚かなものなのです。」あなたのすべての科学者、そしてあなたは原子を分割する方法を教えているいくつかの偉大なる学識者あるいは何か別のものに依存している人々は; あなたに命を与えることはできません。語られた神の言葉以外にあなたに命を与えるものは何もないのです。それは、その命が来ることができる唯一の場所なのです、彼の話し言葉を通してなのです。

そしてどのように原子を分離させる方法を知るためにはそれで大丈夫なのです。彼らがそれを決して見つけられないことを望みます。しかし、もし彼らが...彼らがそれをしなければならないのは、今日この世界がしがみついているからです...地球にこれらの大きな穴を破裂させ、その溶岩を出させ、この世界を再び活性化させ、新しい地球を作るために、それは起こらなければなりません。義人が邪悪な者のほごりの上を歩き、罪が忘れられる場所になるのです。すべてがそれ自身を更新する方法がありますそして、この地球で生きるように与えられた人は、自分の知恵によって、生命の木ではなく知識の木を手に入れ、神が彼に生きるように与えた地球を破壊します。しかし、いのちの木にまだ残っている人々は、病気も死もない、新しい天と新しい地球に来るでしょう。光!光、主よ、光を送ってください。

49 羊飼いたちを永遠の光へと導くために、丘に光を放ったのは神の天使たちでした。ほら、それは光によってのみ来るのです。生命は光によってのみ来ることができます。その羊飼いたちは、知りたがっていました。ご存知のように、王が生まれるとき、王が生まれるとき、彼らは歌い、偉大なることを齎しているのです。さて、彼はとてもひそかに馬小屋の中で生まれました、つまり牛や馬が食べていた飼料桶に置かれていたが、それでも彼は王でした。そして、天使たちが降りてきて、光の中で羊飼いたちに賛美歌を歌いました。

天使たちは、神のことばによって示される光でした。彼らは神のことばを持っていて、彼らに言いました、「今日、ダビデの町、ベツレヘムで、救い主キリストが生まれる」。天使たちはみことばを持っていて、みことばは光によって導くために来られたのです。そして、彼らは天使の言葉に従い、永遠の光へと続けました。彼らが言ったように、彼らはそこに、布にくるまって飼料桶に置かれている赤ん坊を見つけたのです。ご覧のとおり、生命は光によってのみもたらされます。

50 注目してください、彼はみことばが光にされた、または光になった方だったのです。その世代の言葉、彼はその世代の言葉の光でした。昔の預言者たちが彼について語っていたからで、ここに彼は来て、彼は神の語られた言葉の光であることを立証しました。わかりますか? 全ての預言者が語っていたことが、彼の内で成就されました、見よ、預言者たちがみことばによってここに帰ったのです。

ちょうど初めにおられた神のように、彼が「光をあれ」と言われた時、光が来ました。

さて、預言者はこう言いました、「処女が身ごもって、子を産む。彼らはその子をインマヌエルと唱えるであろう、神が我々とともにおられるという意味である。」さて、彼らはそれを話し、みことばは出てきたのでした。しかし、彼は光でした。彼は何でしたか？成就。ハレルヤ！彼はそのみことばの成就でした。彼はそのみことばの顕現でした。

今日もそうです、神の言葉はその時代にあって成就しました！それが光です。それは彼自身を顕現する神です。彼は世の光でした。

51 そして、預言者達が聖霊に触発されて言ったのがこれです、「ひとりのみどりごがわれわれのために生れた、ひとりの男の子がわれわれに与えられた。まつりごとはその肩にあり、その名は、「靈妙なる議士、大能の神、とこしえの父、平和の君となえられる。」その通りですね。彼は何でしたか？その御言葉を成就させる光、アーメン、その御言葉を実現する光。

マタイによる福音書28章で、私たちは見つけます。そしてイエスが死からよみがえられたとき、彼はまた、ダビデの語った言葉の光であり、「私は彼の魂を地獄に置き去りにすることはしません。私は聖なるものが腐敗するのを見る苦しみを味会うことはありません」死は闇の中でありました。しかし、彼は死の封印を破り、そこに歩いて行き、再び戻ってきました。彼は光であり、死者が死んだ後、死者が生きることができるといふ立証された言葉でした。彼はそうでした。

52 ペンテコステの日、それは聖霊が来たときに示された光でした。

イザヤは、イザヤ記の第28章で、イザヤは次のように述べています、「それは教訓に教訓、教訓に教訓、規則に規則、規則に規則。ここにも少し、そこにも少し教えるのだ」「良きことを知りしっかりと握りなさい」「否、むしろ主は異国のくちびると、異国の舌をもってこの民に語られる。主はさきに彼らに言われた、「これが安息だ、疲れた者に安息を与えよ。これが休息だ」と。しかし彼らは聞こうとはしなかった。

そして、ペンテコステの日、聖霊がそれらの人々に降りかかったとき、彼らは酔った男性と女性のように振舞い、聖霊の影響を受けてよろめきました。そして彼らは頭を振りながら立ち去って行きましたそして言ったのです、「この人たちは新しい酒で酔っているのだ」(使徒行伝2:13抜粋参照:口語訳)などと言いました。それはまさに預言された御言葉の顕現であり、間違いなく光だったのです。

53 ですから、すべての時代において、みことばは顕現し、生命に來ます。その時代の光であり、そこでみことばは顕現しました。ちょうど創世記1章でのように、神が「光をあれ」と言われたとき、光がありました。神が子がいると言われたとき、息子がいたのです。

神がヨエル2:28に言われた時、「終わりの時にはわたしはわが霊をすべての肉なる者に注ごう。あなたがたのむすこ、娘は預言をし、あなたがたの老人たちは夢を見、あなたがたの若者たちは幻を見る。」そして、彼が約束したこれらすべてのことは、それが聖霊が注がれたときには、そのみことばへの光でした。みことばが現れたとき、それは光になります。

彼は光です。彼は私たちが従うべき光です。彼は唯一の光です。天使たちは光を見つけ、それは彼に従いました。

54 さて、すべての時代において、神はそれぞれの時代のために御言葉の多くを述べられました。神は常にそのみことばが入って、その光を示すことができる人を送られるのです。それは、すべての時代において、同じことをします、常にそれをするのです。

私が言ったように、彼は預言者のすべての神聖な力の成就でした。彼らは小さな神々でした。主の言葉が人に來たとき、イエスは彼自身が神であると言われました。あなたはそれを知っています。彼は言われました。「神の言を託された人々が、神々といわれておるとすれば、(そして聖書の言は、すたることがあり得ない) 36 父が聖別して、世につかわされた者が、『わたしは神の子である』と言ったからとて、どうして『あなたは神を汚す者だ』と言うのか。(ヨハネによる福音書10:35-36抜粋参照:口語訳)分かりますか？

預言者を通してみことばを語られた正に神ご自身が、その語られたみことばの現れでした。そして、預言者が神と呼ばれたならば、彼は別の預言者の言葉の顕現であったので、彼が同じものであったときに、どのようにしてあなたは彼を批判できるのででしょうか？彼は神の子と呼ばれるので、彼は神の子でした。

彼は世界が待ち望んでいた長い間約束されていたメシアでした。彼はメシアの約束が顕現されたものでした。

55 彼がそこに立った時の彼を見てください。彼は言いました、「もしわたしが父のわざを行わないとすれば、私を非難すればよい。」分かりますか?「しかし、もし行っているなら、たといわたしを信じなくても、わたしのわざを信じるがよい。そうすれば、父がわたしにおり、また、わたしが父におることを知って悟るであろう」。それらが私が誰であるかをあなた方に告げることになる。」

分かりますよね、彼らが生きていたその盲目で暗くなった時代において、彼らはそれを見ることができませんでした。彼らには理解できませんでした。「どうして彼があれになれるのか?彼がここベツレヘムで生まれているのに、彼はどのようにして神の御子になることができますか?」もし彼らが、みことばはそうなると言っているのを知っていたならば。「どうして、彼の父であるヨセフは大工ではないですか。彼の母親は、つまり、私たちの兄弟の間では、彼は不法に生まれたと実際に信じられています。」分かりますか?しかし、それでも神のことばはそう言っていました。

彼は言いました、「あなたがたは、聖書の中に永遠の命があると思って調べているが、この聖書は、わたしについてあかしをするものである。」この聖句こそが、私を証しするものなのである。」その時において彼は何でしたか?神の光。彼が「私は世の光である」と言われたのも当然です。

彼は「私は光です」と言っただけでなく、「あなた方は光です」とも言われました。彼の言葉があなた自身の中にあり、それ自体の記録を持っているなら、あなたは世の光なのです。注目してください、私たちは、各時代の光がまったく同じように現れたことがわかります。

56 それから私は質問をしたいと思います。我々の時代が終わる前に。なぜ、なぜ彼らは…それを断ったのですか?どのように彼らはそれをすることができましたか?彼らが読んでいた彼らの聖書が、彼らの前にまさに顕現されていました。今、真剣に学んでいきます。

覚えておいてください、私はこの時点で多くの人と話しているのですね。ここでは400人や500人だけではなく、何千人の人々に話しているのです。

ちょっと待ってください。テープレコーダーを止めて質問してください。なぜ宗教人、善人…ヨセフはなぜ質問したのですか?分かりますか?なぜヨセフは…?彼は決して聖書を調べなかったからです。

司祭たちはなぜ質問したのですか?彼らがそうしなかった一つの理由は…彼らはそれを知っていました。ニコデモはそれをうまく表現していました。彼は言いました、「ラビ、私たちはあなたが神からの教師であることを知っています。神がご一緒でないなら、あなたがなさっておられるようなしは、だれにもできません。私たちはそれを認識しています。」しかし、それは何でしたか?彼らの伝統(言い伝え)が彼らがそれをするのを妨げました。

57 では、なぜ彼らはメシアを拒否したのでしょうか?…なぜ彼らはその光を拒んだのですか?ここに彼らが知っているみことばが来ていますが、みことばが明らかにされて神のことばが成就したことを示すときのことを今日と比較してください。分かりますか?そこに、みことばに書かれていて、それが起こるとしたら、なぜその人はそれを拒否したのでしょうか 先生たち?彼らは別の光のまぶしさの中に住んでいたからです。それだけです。彼らはまぶしさの中に住んでいた。

それがまさに彼らが今日していることです。彼らが生きているのは

彼らがそれを断った理由は、彼らが別の光のまぶしさの中に生きているからです。分かりますか?今、彼らはモーセが言ったことのまぶしさの中に生きていたと彼らは主張しました。彼らは(別の時代の)過ぎ去ったもののまぶしさの中に生きていました。

そして、それが今日、「イエス・キリスト変わることがない」というこのメッセージが断られたまさにその理由です。なぜなら、人々は他の時代のまぶしさの中に生きているからです。同じ理由で、彼らはそれを断るでしょう。今気づきました。

58 そしてウェブスターの辞書にはこう書かれています、「まぶしさは一種の偽の光です。まぶしさとは偽の光なのです。ギラギラも同じもの。」

道路上の蜃気楼のように。あなたは道を進み、あなた方の多くは車を運転しますね、前を見下ろしますよね。地面にその太陽が見えると、それは光を反射し、蜃気楼のように、道路全体に水があるように見えます。しかし、そこに行ってみると何もありません。それはただの偽物で、蜃気楼、真の光のまぶしさなのです。

それが悪魔が今日やっていることです、人々に蜃気楼、教会評議会、宗派のグループを見せていますが、それは偽りであることが判明します。なぜなら、本当の光が輝いているからです。その本当の光が輝いかなかったので、蜃気楼はそこにあり得ませんでした。本物の光は輝くのです。そして、それは…彼らは別の時代のまぶしさの中に住んでいます、別物でそれはもう終わって過ぎ去ったものなのです。

さて、まぶしさ、この蜃気楼は偽ものなのです。それは太陽のまぶしさです。

59 そして、それは同じように、彼らは同じことをしました、真の光の偽のまぶしさ。

さて、それによって彼が真の光であったことが証明されました。彼は光でした。なぜ彼らは彼が光であることを知ったのですか?どのようにして彼が光であることを知ることができましたか?約束された御言葉が彼を通して明らかにされたので、彼はその語られた言葉の光だったからです。アーメン!ああ、それはほとんどペンテコステ派、バプテストの私を怒鳴らせます。気づいて、考えてみてください!

まぶしさ、ほら、まぶしさの中に生きるという事!しかし本物の御言葉生きている時神が言われたようにそれは光なのです。

さて、もし神が初めに「光あれ」と言われたら、ええと、まあ、他に何かが見えたのです、ほら、ただの蜃気楼でしたか?しかし、それは神が言われたことではありません。いいえ、それはありません。もし神が「光あれ」と言われ、そしてより多くの霧が来たとしたら?ね、それは光があったではないのです。しかし、光が来た理由は、それが彼の言葉が顕現されたからです。

そして今日、神がそのようなことがこの時に起こると言われたとき、あなたはそれがしていることを見ます(それは何ですか?)それは神の言葉の光なのです。御言葉が光にされ、それ自体を現します。

60 さて、彼らは言いました、「あなたは私たちが誰だと言うのですか?なぜ」と彼は言いました。「あなたは…私たちはあなたが狂っていることを知っています。なぜ、あなたはサマリア人です。あなたには正しい心がありません。さて、あなたはしようとして…誰が言うことができるのか…私たちはあなたが罪の中で生まれたことを知っています。私たちはあなたがどこから来たのか分かりません。私たちのグループにはあなたの身分証明の記録はありません。だから、あなたは狂っています。あなたは悪魔をもっていたのです。」分かりますか?「つまりは、あなたは頭が狂っているのです。」と言いました。しかし、彼は実際には真の神の真の光で輝いていました。

そしてまぶしさが置かれ、彼らの目はその外に行きました。「私たちを導くためにモーゼがいます!」

彼は言いました、「もしあなたがモーセを信じていたら、あなたは私を知っていたらう。」

そして、もしあなたがイエスと聖書を信じるなら、あなたが生きているこの時代がなんだかを知っているでしょう。彼らは言う、「まあ、私たちはクリスチャンです。私たちは…もしそうなら、あなたはこの時代のキリストの動きを知っているでしょう。ほら、あなたはそれを知っているでしょう。」

イエスは言われました、「それらすべての預言者たちはわたしについて話していました。そして、もしあなたがそれらの預言者たちを信じるなら、つまりは、あなたは私を知っているはずなのです。私の業が認識されます。彼らが私がすることを言ったので、私はそれをしているのです。そして、誰が不信仰の私を今非難することができますか?」

61 それでも彼らはそれを見ませんでした。なんで?彼らの目はギラギラと一緒に閉じられたのですね、彼らが真に語られた言葉が何であったかから取って何かほかの物にしたまぶしさ。考えてみてください。考えてみてください。彼らはその言葉を信じていると主張しました。しかし、彼らの伝統が彼らの顔を本当の言葉からまぶしさに向けさせていたので、彼らは本物を見ることはできませんでした。

今日もそうです。だからそれはすべての時代にありました。ほら、真の御言葉は輝いていますが、彼らはあまりにも伝統的であり、その言葉を見ることはできません。彼らはまぶしさを見ていて、彼らは盲目です。まぶしさはあなたを盲目にします。そこには弧があります。それがあなたを盲目にします。そして、それは…

イエスは言われました、「あなたは盲目が、盲人を導いている。」彼らには彼が誰であるかを知るためには、それを理解することが出来るはずだったのです。しかし、彼らはそのまぶしさの中に生きていたので、そうしませんでした。

62 さて、私が言ったように、まぶしさは偽の光、蜃気楼、真の光の誤った概念です。誤った概念；それはそのように見えるのですが、それではないのです。

今、彼らが違いを見分けることができる唯一の方法です。なぜなら、イエスがしたことそのものが、彼が誰であるか、彼が光であることを証明したからです。彼らはその光の中にいると思っていました。しかし、今、あなたがちょっと立ち止まって、誰が光の中にいるのかを考えれば、

さて、今日！そのようなおかしな過ちがその時代の教会員によってなされたなら、そのようなばかばかしいことはなされたのです、兄弟たちよ、私たちが立ち止まって光とは何かを考えるべき時だと思いませんか？そのようなばかばかしい間違いをしないようにしましょう。しかし、あなたはそれをやっています。あなたはすでにそれをしていたのです、ほら、彼らの当時と同じように知らなかったのです。さて、ちょっと立ち止まって、今日のために御言葉が言っていることを見つけてください。

63 もし彼らが立ち止まって考えたなら、「ここで彼は手紙に対して、みことばが言われたとおりに成就しているのです。」

そして彼が彼らに挑戦したように私はあなた方に挑戦しているのです。分かりますか？分かりますか？みことばを調べ、聖書を調べ、今がその時ではないかどうかを確かめるように、私はあなたに挑戦しています。分かりますか？「あなたがたは、聖書の中に永遠の命があると思って調べているが、この聖書は、わたしについてあかしをするものである。」彼らが今日置いてこれをしている証なのです。その業自体がそれが成し遂げられたことを証明し、その聖句がそれが成し遂げられると言っているのです、それはその時代の光なのです。神の言葉がそう語っていたのです。

64 あなたの伝統と物事は、まさに頭を振って歩き去った人々のようで、聖書が言ったとおりです。「すべての食卓は吐いた物で満ち、清い所はない。」(イザヤ書28:8抜粋参照：口語訳)と聖書は語っています。そして、それは彼らがいた場所です。彼らはそれを信じないでしょう。彼らは頭を振ったのでした。そして、紳士の皆さん、認識しましたか？そして、兄弟たち、あなたは、神があなたの前で立証されているまさにそのことを拒絶しているとき、あなたが彼らがしたのと同じことをして、あなたの伝統的な嘔吐に戻っていることに気づいていますか？

「犬が自分の吐いたものにもどる時」もし彼が初めの時に病気になったなら、二度目にも病気になるでしょう。カトリック教会が組織され、最初の組織を作ったとしたら、教会に病気をもたらしたのです。ルター派、メソジスト派、そして残りのすべて、バプテスト派、長老派、ペンテコステ派もそうです。「犬は自分の吐いた物に帰り、豚は洗われても、また、どろの中にくろがって行く」(第2ペテロ2:23抜粋参照：口語訳)分かりますか？みこころならば、我々は数分でそれに達します。

65 まぶしさ、まぶしさの中を歩く、蜃気楼、真の光に関する誤った概念。彼は彼が光であることを証明しました。

なぜなら、彼は少数派の道にいるからです。何百万もの人々が彼に敵対しているのです。地上に、彼がここにいることを知っていた人々は6分の1、90分の1もいませんでした。そうではありません。ユダヤ人の100分の1、あるいは50分の1さえもいなかったのです、あるいは40分の1ほどのユダヤ人ではないと思います。私はたぶんそれよりも少なかったと、彼自身の国でさえ彼がそこにいたことを知っていた人がです。そういえます。そして、彼がそこにいることを知っていた彼らは、彼が偽りの何かであると見なしていました、なぜなら宗派が彼が何であることを彼らに言ったからです。分かりますか？

しかし、それでも彼は創世記以来、最初に語られた真の光であり、彼らに聖書を調べてその時代に生きていなかったかどうかを確かめるように頼みました。もし彼が彼のした業がその時代に約束されたものを正確に果たさなかったことがあるとしたら見つけて下さい。アーメン。ああ！

なんて深刻な事だ、兄弟！私たちは途方もない時代に生きています。

66 彼は正しいことを証明しました。彼は彼らが崇拜していると彼らが主張したまさに光だったのです。彼らはその光を崇拜していると主張しました。

そして今日もそうです。彼らはそれを崇拜していると主張しています。ペンテコステ派はそれを主張している。彼らは彼らがそうであると主張しているのです、彼らはそれを見ることができないのです。なんで？彼らは組織します、そして、しかし彼の顔はそのまぶしさの中にあるわけです。分かりますか？伝統とは、何人かの

人々が集まり、「これとこれとこれとあれを作る」と言ったのです。さて、主の御心ならば、我々はなぜそれが起こらなければならなかったかを話すためにまた来ます。

67 注目してください、彼の業は生きた言葉そのものでした。彼がしたことは生きている御言葉それ自体であり、彼が世の初めから約束されていたその光であることを示していました。彼はその光でした。その時代の約束の言葉に対する彼の光は約束が言ったとおりに生きるようにしました、しかし彼らはそれを見ることができなくなるまでそれに背を向けていたのです。分かりますか？しかし、彼はその時代の光でした。

彼は彼らが崇拝していると主張した光でした。彼らは創造の神そのものを崇拝していると思っていました。彼らはまぶしさの中に住んでいて、まぶしさを崇拝していました、そしてイエスは言われました、「人間のいましめ(教義)を教として教え、無意味にわたしを拝んでいる」(マタイに15:9抜粋参照:口語訳)彼はみことばであり、みことばが顕現された方でした。彼らはそれを知っているべきでした。

68 私はそれが聞かれるすべての場所で、それが御言葉が顕現されたものであることを知り、突破されることを望んでいます。「ああ」と言います、「ああ、私たちはみことばを持っています。」つまり、みことば、誰もが望んでいる聖書を持ってはいるのです。しかし、そのみことばが立証され、顕現される時!

なぜ、「まあ、私たちは信じています!」と言うのです。

はい、彼らはずっとずっと信じていました。サタンもそうです。彼らを批判するこれらのパリサイ人達は、信じていなかったのですか？しかし、彼らはその時代のための御言葉を信じていませんでした。彼らは他の何かのまぶしさを崇拝していました。

彼らが今日やっていることと同じです。分かりますか？彼らはルターの予測を守っています…伝統、あるいはウェスリーの伝統、そして残りのペンテコステ派の伝統。しかし、その時代に関してはどうですか？

パリサイ人は彼らの言い伝えを守っていました。しかし、彼らの伝統(言い伝え)の背後には、真の神のことばが輝き出て来ました。そして、それがあつたとき、それは彼らの目を盲目にしました。彼らは他の何かを見ていたので彼らはそれを理解することができませんでした。

今日もそうです!神様それがはっきりと人々の中に入り込み、家に帰る時にはそれを信じるようにさせてください。あなたが思っているより遅くなっています。

69 私の息子、ビリーポール、彼は寝ている間に話しますが、彼はあまり夢を見ないのです。彼は先日の夜、に見た夢は彼を揺さぶりました。彼は自分が教会にいることを夢見ている、そして彼らは…まだ入っていませんでした。

私が入ったとき、火が目から飛び出ている、私は言いました、「時はもう来ている。終わりました。」と

そして誰もが叫び始めます。「私にはできない。私の子供たち!」

そして妻でさえ、「サラにテーブルで祝福の祈りをすることを求めることはできません」などと言いました。そして私は言いました…

彼は言いました、「私はロイスと赤ちゃんを連れに行かなければなりません。」

私は言いました、「ロイスは今来ることができません。それを知るには赤ん坊は小さすぎる。ビリー、時は来ました。私たちは行かなければならない。」私は言いました、「今は真夜中です。日の光が来るの前に、イエスはここに来られていることでしょう。そうでなければ、私はキリストの偽りの証人です。」

そして誰かが言いました、「誰もはっきりとしたときを知りません。」

「私は分や時間を言ったことはありません。私は「今から日の光が昇る間のいつか」と言いました。」そして私は言いました、「行きましょう一行きましょう」。…?…私は言いました、「しかし、私たちはその時にいます。行きましょう。」

そして車に乗り込み、車を走らせ始めて、山を登りました。そして、私たちがそうしたとき、それは光が空に来ているように見えたが、地球上は暗くなりました。彼は私が道路の端を引っ張って、このように私の手をかざしたと言いました、火はまだ目から飛んでいます。そして彼は私がこう言ったと言いました、「主よ、私はあなたの命令でこれをしました。私はあなたが私にこれをそうするように言ったという理由だけでこれを

しました。私はあなたが私に言われたことに従ってこれらのことをしました。」

そして私は大きな花崗岩の山に動いたのです。そして光が、手を使うことなく、山から石を切り取り、数百トンの重さの物が、ここに来たのでした。私は言いました、「頭を反対に向けなさい。見ないで。ほんの数分ですべてが終わります。」この石がその場所に向かって来るとき、それから、偉大な聖なる静けさが至る所にやって来ます。

70 思っているより遅いかもかもしれません。そこに、それはまさに聖書のとおりに。「石は、手なしで山から切り取られました」と言ったのです。

近いうちのある日に、そのように起こるのです、あなた方が何かのために叫ぶときに。私は彼らに言いました、「あなたはすでにその時間を過ぎました。神は何度も何度もあなたに警告してきました。ええ。」私は言いました。「それが私自身の子供であっても、誰であれ、その時はここにいます。私は彼が私に言うように言われたことだけを言うことができます、そしてそれはそこにあるだろう」そしてそうになっていたのです。

そして、そしてその後、突然[ブラナム兄弟が手を一緒にたたき編集]、ここに彼が来て「石が人手によらずに山から切り出された」のです。ダニエルは何年も前にそれを知っていました。ビリーはそれについて何も知りませんでした、それは主から彼に送られた夢でした。

さて、見てください、彼らは彼らがかからかっているそのまさにその神を崇拝していると主張しています。そして、同じことが今日も同じように逆転しました。同じ理由で、光の代わりにまぶしさの中に生きているわけです。偉大なる光には輝きがあります。よし

71 今日われわれのいる闇を見て下さい。今日何が起こっているのか見て下さい!殺人、レイプ、争いを見て下さい!つまりそれは起こったわけです。ビリー・グラハムが彼の最近の集会で言ったことだと私は信じています。「今から10年後、カリフォルニアのすべての市民は彼ら自身を守るために銃を持っていなければならなくなるでしょう。十分な法執行機関を置くことはできません。」人々はちょうど狂っています。射撃、殺人、レイプ、などのすべての事を見て下さい。もっともっとストリート上が荒れてきているわけです。ほら、それは私たちが生きている時代、ソドム人の時代なのです。わかりますか?

しかし、輝く光があります!もし彼らがただ見ているならば、見ているだけで、みことばを調べて、この時代に何が起こるかを考えているなら、彼らは何が行われようとしているのかが分かるでしょう。

さて、彼らはその光を崇拝していると主張し、その光を崇拝していると主張しましたが、彼らは本物の光ではなく別の光のまぶしさを崇拝していました。わかりますか?彼は光でした。

72 信条や伝統(言い伝え)は、彼らの盲目的な状態で、約束の言葉の真の光から離れていました。神が世の光であるイエスによって立証されたみことばが来て、そのみことばが時代に対して正確に生きるようにされました。「彼は70週間の真っ只中に切り離されるでしょう、それは彼の預言の3年半です。救世主が来て、王子として預言された方、この3日半後、彼はその生けるところから切り離され、贖罪とされるでしょう。」そして、それはまさにその通りです。彼は3年半にわたって説教しました。そして彼らの…

そしてダビデが言った詩篇そのもの、「わが神、わが神、なぜあなたは私を捨てられたのですか?」詩篇第22篇17節「わたしは自分の骨をことごとく数えることができる。彼らは目をとめて、わたしを見る。彼らは頭を振って。彼らは私を通り過ぎます。」ダビデが御霊の内にその歌を歌ったとき、それは予言とみなされて与えられたとき、それが実際に起こる八百五十年前の事でした。彼らは、同じ犠牲が彼の手が十字架にかけられ、釘が刺されて穴を開けられた時、神殿で彼らは歌を歌っていました。「そして彼らは私の手と足を刺し貫いた。」わかりますか?ほら?では、なぜですか?彼らはまぶしさの中に生きていたのです。彼らは光を見ていませんでした。

73 賢明な人がそうしていることを想像できますか?わたしには賢明な人が地下に走り下って、そのなあと入り、彼の扉と一緒に轆いて、「光がそこに入るのを見ることを拒否する」ということを創造することは出来ません。それは狂気です。

そして、彼の霊性がどこかで、聖書がこれを約束しているのを見て、それが彼のすぐ前に生きていて顕現しているのを見て、そしてそれを絶えずそれらの信条やそこにあるものに留まって本物を拒否するのを見たとき、滑ってしまったのです。それは霊的な非行です。その通りです。

ここに今彼はおられたのです。「彼はそうでした。彼は世の光であり、世は知っていました…彼は自分

のところきたのに、自分の民は彼を受けいれなかった。彼は世に来ました、そして世は彼によって作られました、そして世は彼を知りませんでした。」分かりますか?「しかし、彼を受けいれた者、すなわち、その名を信じた人々には、彼は神の子となる力を与えたのである。」(ヨハネによる福音書1:12参照:口語訳)

74 忘れないでください、私たちは昨日の光で生きることはできません。昨日の光は消えました。それはもうありません。昨日の光はただの思い出です。昨日の日光は記憶に過ぎません、またはそれは歴史です。昨日の光の中でもう生きることはできません。そして、同じですが、同じ太陽、同じ太陽ですが、収穫のために穀物を熟成させるために、毎日、その力を少し強くします。分かりますか?

今日の太陽が昇ると少しづつ強くなります。毎日、それは少しづつ強くなり、少しづつ強くなり、ついに小麦がそこに産出されるまで、そこに植えられていてそれが命を持つのです。しばらくすると命が上向きになり、少しづつ強くなります。3月、4月、5月、6月、7月、彼女は収穫期にありますね。今日、1月か12月に輝く同じ太陽がそこにあります。雪が降り注ぎ、その雪が雪に溶けて水になります。それは同じ太陽ですが、その小麦は6月の同じ日光の中に生きることは出来ませんでした。ね、それはできません。ご覧ください、日差しは毎日少しずつ強くなっており、穀物は日光を受けているためにもう少し成熟しているはずですよ。

それが今日の問題です。初期の信仰の父の中に蒔かれた種は、そこに戻ってきました。ルターとウェズリー、そして彼らでは、それらは小さかったのです。息子を取ることはできません。息子はそれを殺します。それは成長を拒否しました。分かりますか?それはそれを切り取り、茎からそれ自体を取り、ここに来て、それ自体を小さなものにしました。それは殻になり、その中に生命はありません。息子が日々強くなるにつれて、穀物は成熟し、強くなるはずなのです。

75 では、少し見てみましょう。私たちは教会の時代を見守ります。教会には7つの時代があります。そして、それらの各々の教会が成熟するにつれて、それぞれが、彼が彼らに何をするか、どのように穀物が成熟し、ここでこの終わりの時代私たちが生きているこの最後の時代に降りてくるかを彼らに話しました。ですから、教会は同じことをしなければなりません、教会を見てください。

さて、ルターは穀物を播種しました、そしてルターは穀物でした、そして、彼はそれを播種しました。よしウェズリーもそうでした。ペンテコステもそうでした。バプテスト派、ナザレ派もそうでした。しかし、ご存知のように、今、ルターは戻って最初の宗派であるカトリックの光の中で生きることはありませんでした。いいえ、彼は別の光でした。それは神が何かを熟成させることでした。さて、それから小さな少数派が出てきて、それがルター派のリバイバルです。

それからウェズリーのリバイバルに沿って来たのです、そして、それで、と言っても、彼らは戻ってルター派を行うことはできませんでした。分かりますか?

そして、その後、ペンテコステ派がやって来ます。そして、その後、ペンテコステ派を組織化し、同じことをしました。殻を取ったのでした。注意。

76 しかし、穀物はそこにありました。今、私たちは別の時代にいます。なぜ彼らはそれを受け取らないのでしょうか?なぜ彼らは穀物が成熟しているのが分からないのでしょうか?ここに、この日のために約束された御言葉があります。[ブラナム兄弟が彼の聖書をなでる—編集]なぜ彼らはそれが分からないのですか?彼らはルター派のまぶしさ、ウェズリアンのまぶしさ、バプテスト派のまぶしさ、ペンテコステ派のまぶしさの中で生きているからです。彼らは別の光のまぶしさに生きているのです。それが、神が約束されたとおりに、すべての言葉の光が立証されたものであるとは言えない理由なのです。それらの7つの封印のすべての奥義が顕かにされて、なぜこれらの奥義がそのようになされたかが戻っていて告げられました、しかしながら、それが入ってきたとき、彼らは今まで以上に遠くに歩いていくのです。彼らには言い訳がありません。

神は啓示を通して霊を通してそれをなされたのでした。彼は、科学のおよびその他すべてによって、それが真実であること、それが真実であることを完全に証明しました。それでも、彼らはペンテコステ派のまぶしさに住みたいと思っています。「私はアッセンブリーのメンバーです!私はワンネスです!私はチャーチオブゴッドです!私はこれです!」ほら、40、50年前の時代のまぶしさの中で生きています。ルター派のまぶしさの中に生きているのです。ウェズリー、バプテスト派、長老派、またはナザレ派の中に生きていて、同じことを続けて組織し、同じことを行った別の教会時代のまぶしさ、そして光が実際に輝いているときはその光を拒否して否定しています。

77 そして、あなたは蜃気楼の中に生きているのです。私はそれを敬うように言います、しかし、あなたは…あなたを傷つけるためではなく、あなたを目覚めさせるためにです。あなたは蜃気楼の中に生きています。

もしイエスが「なぜ、あなた方は盲人が盲人を手引きしている」と言われたら？彼らは…彼は彼らに伝えようとしていました。そしてそれはしませんでした。彼らをそのままにしておけ。彼らは盲人を手引きする盲人である。もし盲人が盲人を手引きするなら、ふたりとも穴に落ち込むであろう」と言われました。それが私が来た時代なのです！彼らがよろめくなら、私はそれを助けることができません。私は出来るすべてをしました。その通りにやりました。

主よ、私はあなたの命令通りにこれを行いました。あなたがその証人です。

1933年以来、その川で、そこであなたが見ているところでその光が降り注いだとき、それはこのタバナクルの中でここ数年にわたって、あなたはそれの証人だったのです。そして、それが言われたすべてのことは実現しました。そして、継続的にそれらは続いて進んでいます。「盲人が盲人を手引きさせる。」ただその時を待っているのです。彼が近いうちに來られるのをです。

78 ルーサーのまぶしさの中に生きること、ウェスリーのまぶしさの中に生きること、それらの場所で生きること、そこにまぶしさがあることに注目してください。それが、彼らが真の光を見ることができない理由なのです。彼らが数分間立ち止まり、聖書を手に取ってただそれを読むなら、彼らは…これがその時代に約束された光であることに気づくでしょう。

それでは、これらのことのいくつかを1分以内に説明する予定です。マラキ記4章によると、彼はこれらのことが起こること約束されていました。彼は聖書全体を通して、それらが起こることを約束しました。分かりますか？

旅をしている時のイスラエルも、私たちと類似していることに注目してください。見てください、彼らは光と生命であったマナを食べて、彼らに力と生命を与えていました。そうですか？[会衆は言う、「アーメン」。一編集。]イスラエルは前日に落ちたマナを食べることはできませんでした。それは汚されていました。腐っていました。それは彼らにとってもう良くなっていたのです。それを食べると死んでしまいます。前日に彼らを生かしたマナは今日彼らを殺すでしょう。聖書は、細菌が入って腐ってしまったと言っています。そしてマナ、彼らは毎日新しいマナを手に入れなければなりません。アーメン。

そしてそれは何ですか？ルター、ウェスリー、そしてそこに戻ってきてそのマナで生きている人々は、靈的にあなたを殺している汚染されたものを食べています。それはあなたを殺しているのです、あなたの伝統の中で死んでいるのです。

79 前日のルターのマナはメソジスト派のためにはうまく行かなかったのです。メソジスト派のマナはペンテコステ派ではうまく行かないでしょう。ペンテコステ派のマナは今日ではうまく行きません。私の言わんとしていることが分かりますか？それは毎日、毎日、新鮮なものが来るのです、教会時代を通してそうなのです。

ルターのマナは義化のメッセージでした。ウェスリーのメッセージは聖化の現れでした。ペンテコステ派は賜物の回復でした。しかし、これは頭石、終わりの時の、花嫁の木を紹介しているのです。それはそれらのすべてに反していますが、それでも成熟するためにあったその同じ光なのです。

太陽と同じように、今日の輝きは、7月の収穫のために穀物を熟成させるでしょう。私の言っていることが分かりますか？しかし、今日の光は、7月には何の役にも立ちません。より強力になるのです。小麦がより強くなっているので、それを取る準備ができています。アーメン。確かです。彼らは今それを取ることは出来ませんでした。その時には出来るのです。その時、季節は正しくありませんでした。それは今なのです。

神の性質に逆らうことはできません。彼には立法があり、その立法に反するとあなたの植物を殺します。あなたは神の話された律法に従って行かなければなりません、そして彼の律法は彼の言葉です。全ての立法は語られえた言葉なのです。言葉というのは表された考えなのです。分かりますか？今、私たちはそれが真実であることを知っています。

幻は何ですか？神の御言葉、または予告された何か、または出来事の予見です。そして、預言者達が持っていた、そしてイエスが持っていた、パウロが持っていた、そして彼ら全員がこの時代について語った幻は、何が起こるかについての予見でした。そして、ここでは予見が明らかにされ我々は見えています、そして人々はそれを認識さえしていません。私の言っていることが分かりますか？さて、昨日のマナ…

80 ここを見てください。太陽s-u-nが毎回東から西に移動していることに気が付いていましたか？気づいていましたか？そして、注目してください、教会時代も同じことなのです。何ですか？太陽、s-o…s-u-nは東から

始まりました。そして、文明は太陽とともに旅してきました。彼らが生きるための神の語られた光です。彼らは太陽に従ってきて、それがどこへ向かっていたのかを見ていたのです。

あなたが生まれたとき、命そのものは太陽のようなものです。あなたは、あなたの誕生から太陽の下るまで、太陽の動きとともに動くのです。

人はいつも西に向かって旅してきました。私たちが持っている最も古い文明は、東の国である中国文明なのです。エルサレム…そして、気づいてください、彼女はそれが行くにつれて、そしてそれが続くにつれて、西へと西へ旅し続けます。

81 教会時代も同じように、神のS-o-n(御子)によって旅されました。見てください、初代教会であるパウロは東から始まりました。それはそこから、海を越えてドイツに飛び込んだ。3つの引きが作られたのでした。ここを見てください。アジアから、パレスチナで、それは海を越えてドイツにジャンプしました。それがルターでした。そしてそれはルターからイギリス海峡を越えてイギリスに飛んでいきました。ウェスリーによって。そしてウェスリーから彼女はアメリカの西海岸に飛びました。そして、これをさらに進めると、再び東に戻ってきます。これは夕暮れ時なのです。

教会時代がどのように戦ったかを見てください。ルター…パウロ、最初に、初期の時代に戻りますね。それからイヌス…イレナイオスなどに降りてきます。フランスに下りてきて。そこからドイツへ。イギリスへ。常に西に向かっていくのです。

そして今、私たちはこれ以上先に行くことができません。これが最後の時代なのです。そして、聖書はこの最後の時代について何と言っていますか？地理的に、年代学者、そしてあなたが使いたい殆どすべての方法を見てください。聖書的に、まず、もちろん、最初に聖書。証拠は、歴史的に、使いたいと思う方法であり、私たちは終わり、つまり最後の教会時代にいます。

82 そして、それが進むにつれて、それはますます強くなっているのを見てください。そして、教会の真の少数派は、義化、聖化、聖霊のバプテスマから、そして今度は頭石に成長し、それ自体を形作っています。この後、これ以上組織はありません。もうありません。ほら、それは無いのです、私たちは西にいます。

すべての類似点と他のすべてを通してあなたにただ見せるためにです。そして、それらの3つのジャンプ、3つの引きを見てください。今夜、それについて話していきます。終わりの時に我々がいるかということを見て下さい。それはただ…

s-u-n(太陽)はS-o-n(御子)のように移動しました。s-u-n(太陽)のようにS-o-n(御子)が。教会は、7つの教会時代などから同じように来ました。文明は西に移動していき、教会は西へ移動していきました。そして今、私たちが今よりもさらに進んだ場合、私たちは再び東に戻ってきます。あなた方は西海岸を去り、中国、日本、そして再び戻ってきます。全長7000マイル、再び東に戻ります。それで、東と西は出会いました、それだけなのです。私たちは終わりの時にいます。何も残っていません。

83 そして今日もその当時に起こったことと同じことが起こりました。同じことが西側で満たされ、東側でも満たされたのでした。絶対に光を見せようとしている別の光のまぶしさの中に生きている人々は、彼らが光の代わりにまぶしさを得たので、来てその本物の光を拒絶しているのです。ああ！「そして異邦人の地には大きな光がありました。ゼブロン、ネフタリム；ガリラヤの…異邦人の地であるガリラヤで」

これは7番目の教会時代です。覚えておいてください、そして日がして輝いているその太陽は、西で輝いているのと同じ太陽です。そしてその教会時代すべてを通して今日の同じ御子であり同じ御霊なのです。ただ、それは何ですか？ちょうどその季節での成熟のようなものです。今の太陽は、この秋、この秋に穀物を熟すのと同じ太陽になりますが、(それは何ですか?)それはこの太陽とそれが何になるかなのです。そして今日、この最後の時代において、彼らはそうであったことに加えてこれなのです。

それでも、彼らは小人として、そこに生きたいのです、かびの生えた古い中間部隊…古い指名の地下室と信条に降りて行き、目を盲目にさせて言うのです、「私はとにかくそれを見るのを拒否するだけだ」とそれはすべてナンセンスです。」そして、彼らが信じると主張しているまさにその聖書が、終わりの日に光をもたらす同じ聖霊によって識別されているとき！

84 気づきましたか？そして、マラキの中にあるものを本当に近く見て下さい、彼がどのように「父親から子供への信仰、そして子供たちから父親への信仰」を語ったかを見て下さい。見て下さい、それを越えて上

に引き上げられた同じ御霊、それがここで再び立ち上がるのと同じことです。ちょうどその逆、正確に、再びちょうどそこに戻っておかれているのです。その理由は？東と西が出会いました。私たちの顔のちょうど真下で起こっているのにも関わらず、彼らには見えません。なんで？イエスが言われたのも不思議ではありません。「彼らをそのままにしておけ。彼らは盲人を手引きする盲人である。もし盲人が盲人を手引きするなら、ふたりとも穴に落ち込むであろう」。

他の時代の光はこの光だけを反映していました。分かりますか？今日の太陽は反射するだけです、もし神が…収穫のために、この7月か8月になるとその太陽は反射します。そして、ルター、マーティン・ルター、ウェスリーの息子、そしてサンキー、フィニー、ノックス、カルバン、ムーディ、その他すべての人々、それらの光を持っていた偉大な人。そして、バプテスト教会のジョン・スミス、そしてアレクサンダー・キャンベル、キャンベライト教会、そしていわゆるキリストの弟子、クリスチャンの教会、そして彼らが彼らに付けた名前は何でも。彼らがその時代にいたすべての人々は、彼らの時代では、それが最後にここにあるものを反映しているだけでした。

85 そして、ここで、子供たちは彼らの創設者の直後に、彼らは何をしますか？彼らは莖に留まりませんでした。彼らはそれから離れて、彼ら自身をここで小さな殻のを作り上げてしまいました。それは、あなたは本当の生命の源から離れ、あなたは生命を持たなくなるのです。あなたはものから殻を取り、この地面に植えます、それは倒れて腐敗します。そして、あなたもそうです、腐ったマナを昔から食べようとしています。

収穫は熟しています！イエスは、神の聖徒が今日の熟した食物を、今日彼がここにいることを立証し、証明する福音の光によって食べられるテーブルに広げています。アーメン。聖徒たちはそのパンを食べます。

考えてみてください。昨日の古い殻を、そこに植えないでください。それは腐っています。それはできません、それにとどまることはできません。いいえ。それは役に立たないでしょう。それは成長しません。それは命から離れています。そして御言葉が命なのです。そうです。殻が脱落し、小さな古いひげが落ちる、そしてそのようなこと。それはそれ自体を宗派し、降りるだけです。それがその命を続けることを拒否しています。

しかし、その光はそれを立証します。ああ、何と！はい、そうです。

86 昨日、ああ、何と、それをどう見るべきか！昨日の腐ったものを、今日は食べないでください。分かりますか？そこには虫がいます。私がそれらと呼ぶこれらの小さなボウフラを知っていますか？私は分かりません。私一私は細菌の生命についてはあまり知りませんが、私たちはいつも彼らをボウフラと呼びました。それには少し腐ったとき何でも入ります。分かりますか？それを私は欲しくないのです。あなたがそれで満足しているなら、進んでください、でも私はしません。しかし、覚えておいてください…

「では、なぜそれは昨日は良かったのですか？」とあなたは言います。

初めに小麦の上にあった非常に小さな外皮だけを知っている場合、それが穀物にとどまっている場合、それは穀物をさらに作ります。それこそが小麦の花が咲く要素なのです。それが昨日でした。しかし、それが穀物から分離し、成熟しない場合、それは消えてしまいます。分かりますか？しかし、それが生命を与えるプロセスを通過する場合、それが消えるとき、それは他の何かに溶け込み、穀物を作るだけです。そうでない場合、それはどこから来たのですか？アーメン。分かりますか？[会衆は「アーメン」と言います。— 編集。]

87 イギリスの女王のように、一度彼女は素晴らしい製紙会社に行きました、そして、彼女は製紙工場を通して見たいと言いました。それで彼らは彼女に彼らがパルプやほかの物で紙を作ることが出来ると見出す前に製紙工場を見せました。それで彼らはまあ、しばらくして、彼女はそれが汚れたぼろきれの大きな古い山ばかりの部屋に入ってきました、そして彼女は言いました、「これはどこから来たのですか？これは何ですか？ああ」と彼女は言った。

工場の社長は言いました、「これは私たちが紙を作るものです、これらの汚いぼろきれから作るんです。」

彼女は言いました、「それで、紙を作りますか？」

「はい」だから彼女はそれをほとんど信じることはできませんでした。

それで、彼女がいなくなった後、その人は同じ汚いぼろきれの山を取り、特定のプロセスを実行し、それからきれいな純粋な紙から取り出しました。プロセスを経て、本物になりました…そして、彼女のプロフィールをそれに入れて、彼女にそれを送りました、彼女が「汚いぼろきれ」と呼んだものが彼女自身を反映してい

ます。

88 今それがその物なのです。昨日の死んだもの、ルターのメッセージ、ウェスリーのメッセージ、ペンテコステのメッセージ、それが神の聖霊のプロセスと復活の言葉だけを通してすることができるならば、それが王であるイエス・キリストの反映をもたらすでしょう、アーメン。しかし、そのままにしておくと、汚れたぼろきれなのです。分かりますか？

それは何か他のものに成形されなければならないのです。ルターはウェスリーに形作られなければならない、ウェスリーはペンテコステ派に形作られなければならない、ペンテコステ派はキリストに形作られなければならないのです。それはプロセスを経ます。そして福音もプロセスを経てきたのです。それは今経過をたどっています。ルターの義化の時代、私たちはそれを信じています。ウェスリーは、聖化について、信じています。聖霊の賜物の回復がペンテコステ派に来たものを、私たちは確かにそれを信じています。しかし、それをすべて一緒に成形したら、何と一緒に出てきたのですか？イエス様は正しいのです、昨日も今日もいつまでも変わることがない方なのです。ああ！それはイエスと共に出てきます。

89 鑄造工場の人が鐘を作っている時、彼はそれに入れなければならない特定の音色を得ているのです。彼は型をセットして鉄を注いでいるとき、真鍮、鋼、銅をたくさん入れます。なんで？彼は正確にどれだけの量を入れ、作るの、それに適切な音を与えるかを正確に知っています。

そして、それはイエスが彼の花嫁によってなされたことです。彼はルター、メソジスト、そして長老派、ペンテコステ派にたくさん入れなければなりません。しかし、彼は何を出して来ましたか？彼自身の反映。

それは何ですか？ピラミッドメッセージのようにね、それは山頂に積み上げられています。少数派が頭石と一緒に入ってくるのです。地上でのイエス・キリストのミニストーリーは、彼が持っていたミニストーリーと同じでなければなりません、そうでなければ、彼はそれに来ることができません。ちょうど頭から足までのように。頭…足は頭ではありませんが、頭は足を持っていて、足に物事をさせることが出来るのです、どこへ行くかを指示します。分かりますか？[会衆は「アーメン」と言います。— 編集。]美しい、それこそがその時代の光なのです。

ウェスリーは素晴らしい光でした。彼がバプテスマのヨハネに言われたように、「彼は彼の時代のための素晴らしい光でした。」確かに、彼はそうでした。

90 いいえ。はい、きれいなぼろきれ…または、昨日の汚れたぼろきれのままにしておけば、それは…いつでも汚れたぼろきれになるだけです。それは生地としての役割を果たしましたが、今では紙になっています。

義化はルターの下での義化においてその時代では役立ちました、そしてそれはウェスリーを通して聖化になる必要がありました。そして聖化は、それが聖霊のバプテスマになるまで、その時代に役立ちました。そして、聖霊のバプテスマがその時代に仕えたのです。聖霊（神はたった1人しかいません）が教会に溶け込み、教会がキリストに溶け込むまで、イエスはここで聖書に約束されたとおりイエスキリストが地上で反映されるようになるまでの事でした。信じられないかもしれませんが。私はあなたにそれをさせることはできません。私は御言葉にのみ責任があります。分かりますか？そうです。

91 だから分かりますか？分かりますか？もしそうするなら、それは次のようなものになるでしょう。その人は、ウェルチのリバイバルの最中に、ウェールズに行ったときに居ました。たくさんの方がアメリカから行きました。それで彼らは降りて来て、彼らはこのウェルチのリバイバルを催している建物を知りたいと言いました。あなた方の多くはウェルチのリバイバルを覚えています、素晴らしいリバイバルでウェールズのウェルチの人々の間で起こりました。それで、これらの人々は、偉大なミニスターなどが、アメリカから行き、彼らは神学の博士でした。彼らは上に行って、彼らが何か素晴らしいことをしたかを見たかったです、分かりますよね。

それで、彼らは通りを歩いていて、彼らは言いました…角に立っている小さな老いた警官に会い、彼のクラブをぐるぐる回って、そして賛美歌のようなものを口笛で吹いていました彼らは言いました、「まあ、彼は賛美歌を口笛で吹いているだけだね。私たちは上って、彼に会い、彼が何をするのかを見てみましょう。つまり、彼に質問するのです。」

それで彼らは彼のところに行って言いました、「サー、ウェルチのリバイバルはどこですか？」

彼は帽子を脱いで。彼は心の中で「皆さん、ウェルチのリバイバルがここで開かれている」と言いまし

た。ああ、そうだったのです、彼がウェルチのリバイバルでした。

神よ、もしわれわれに何か出来るのだとしたら、私たちがイエス・キリストを反映したもので彼の御言葉を顕現したものであることを理解することだけです。あなたは彼の言葉を反映しています。分かりますか？

「ウェルチのリバイバルはどこで行われますか？それはどの建物でありますか？」

彼は言いました、「先生、それは私の心の中にあります。」彼がウェルチのリバイバルでした。そうです。

そして今日、教会は地上で行動するイエス・キリストであるべきです。「私が生きているから、あなたも生きるのである、私の命があなたの中にあるから。私のする業をあなたもするようになるであろう。」分かりますか？教会もその場所に行かなければなりません。そして彼はそれがするだろうと約束されました、そしてそれはなされるでしょう。そのように来る必要があります。つまり分かるようにそれが起こるということです。私たちはそのようにならなければなりません。

彼は光です。

92 だから彼の時代にノアも光でした。彼は光でした。ノアはその光でした。彼は何のための光でしたか？神の言葉がなされるため「わたしが創造した人を地のおもてからぬぐい去ろう。箱舟を建てなさいそして、そこに入りたい全ての存在は救われるであろう。」

ノアはそこを歩いて出て行ったのです、「一つの方法があります、それが箱舟です。」

彼らは「年寄りの狂った狂信者」と言いました。彼は御言葉が顕現された存在だったのです。ノアはその時代の光でした、確かにそうでした。彼の時、彼の時代に、彼は光を発していました。

モーセは彼の時代の光でした。「私は確かにあなたを訪ねる」と神はアブラハムに言われました。「そして私は降りてきて、わたしは人々を強い手で連れ出し、エジプトでわたしの力を示すでしょう。」

そして、モーセがそこにいる燃えるやぶに出会い、あつてあるものがそのやぶの中にいることを知ったとき、モーセはそこに行きました、彼は光だったのです。アーメン。彼がほこりを取り、それを吹き飛ばして、「ノミを地にやってこさせよう」と言うのも不思議ではありません。彼には神の言葉がありました。何が起こったのですか？ほこりが吹きとび始め、ノミの存在がはっきりしてきたのです。ハレルヤ！なんで？彼は神の光の言葉「私はエジプトを苦しめるであろう」の顕現でした。彼は預言者でした。彼の言ったことは実現するのです。彼はその時代の光でした。彼は神の光でした。

93 パロは彼が欲しかったすべてのものを持っていたかもしれませんが、そしてそれらの残り、すべての司祭は彼らが望んだものを持っていました、しかしモーセは光でした。なんで？彼は顕現された神の言葉を示していました。神は約束しました、「私は彼らを強い手の下に連れ出します、そして私は自分自身の栄光を手に入れるであろう。」それが彼がしていたことです。

それがモーセが創造できることを証明した理由です。彼が創造したかったからではありません。神が彼に言われたからなのです。「それとともに、「会衆に行つて、「明日…」とってください。」主なる神はただ私に話しました、「ほんの一握りのほこりを取り、このようにそれを空に投げ捨てて、それを呼びに行ってください。」ここには何もありませんが、そこにあります。」アーメン！

ああ、あなたが眠っていないことを望みます。ああ！[ブラナム兄弟が手を一緒にたたく—編集。]顕現！

彼は言いました。「私は送られた。神は私たちの先祖たちに確かに言われました、確かに彼は私たちをここに訪ねて連れて行ってくださいます。時が近づいていることを証明するために来ました。あなたが得たものを取り捨てなさい。行きましょう！」はい。

彼らの何人かは「まあ、私は信じます…」と言いましたダタンは言いました、「急ぎであるとは思いません。私たちはこれに興奮するべきではありません。」そして、それは4、5回失敗したように見えました。しかし、まったく同じように、それは進みました。

彼らは考えたのです。彼らは出てきて言いました、「私たちはこのモーセを石で打ちます！彼を私たちから遠ざけてください！私たちは彼を私たちのグループの中に入れてくれないのです。」

とにかく、モーセはちょうどその先に進んだのです。彼は命で、彼はその時の光だったからです。彼が持

っていたもの、それは何でしたか？神はモーセを通して約束された言葉を表されていました、モーセは光でした。

94 エリヤは光でした。「そこに出て、その丘にいなさい！ワタリガラスにあなたを養うように命じました。」アーメン！はい、そうします。

彼は主がこう仰せになられるとともに戻ってきました。「私がそれを要求するまで、露でさえ天から落ちることはありません。」アーメン！「太陽は輝くかもしれませんが、あなたはすべての雲を求め、あなたがやりたいことを何でもするかもしれませんが、私が呼ぶまで露さえおりては来ません。」彼は何でしたか？光！ハレルヤ！彼は光でした。光！彼は神の言葉が顕現されたものでした。

彼らは彼がそこに落ち着いたことで彼の事を狂っていると思っていました。彼にはポーターがいて彼を養っていました。そして彼らは飢えて死にかけていました。彼らは自分たちの伝統の中で生きてきたのです。どうぞ。モーセでもエリヤでもなく、彼は光の中で正しく生きていました。小川、チェリスのそばにそこにセットアップして、食事をして、誰かが彼の世話をする人、そしてすべてにおいてよい時間を過ごしていました。彼らは彼が狂っていると思っていましたが、彼は一彼は光でした。

95 彼らは言います、「ねえ、私たちがこのあたりでにいた昔からのホーリーローラーはどうなるのですか？さて、知っていますか？先日誰かが狩りをしていて、彼らは彼が山の頂上に立っているのを見たと言いました。そこにセットアップしている時に。私は年長者はこの時まで干上がっていると確信しています。」アーなんてこと。彼は光でした。彼は光だったのです。彼は当時、神の光でした。

ヨハネ、彼が地上に来た時、神学校からではなく神かの教育を得るために荒野に出かけたのでした。彼はメシアを紹介しなければなりません。ですから、イエスは彼が出て来たとき、「彼は明るく輝く光だった」と言われました。ハレルヤ！なんで？彼は顕現されたみことばでした。

イザヤがそう言っていました。それだけです。そうです。「荒野で呼ばれる者の声がする、『主の道を備えよ、その道筋をまっすぐにせよ』」と書いてあるように、ここで彼は出て行くのです。彼は何でしたか？「荒野で呼ばれるものの声。」

彼は何でしたか？みことばの現れ、光。創世記で語られた同じ神。それがこれを語り、そしてここに光が来ます。彼が言われたように、「太陽として光あれ」そして太陽は存在するようになったのです。「荒野で呼ばれるものの声」があると彼が語られたのでここに来ているわけです。それはその時代の光でした。

96 彼はまた、終わりの時にと言われました。アーメン！それは時の光であり、バビロンの荒野で呼ばれるのです。「わたしの民よ。彼女から離れ去って、その罪にあずからないようにし、彼女の汚れたものに触れないでください！そこから離れよ！その災害に巻き込まれないようにせよ！」

ヨハネも同じことを語っていました「斧がすでに木の根もとに置かれている。」(マタイ3:10抜粋参照：口語訳)教育を受けていなかったし、説教者のようにも話しませんでした。彼は蛇、そして棒、木、そして斧、そして荒野で彼が慣れていることについて話していました。彼は今日のような大きくて素敵なものの中でまたその時代も同様でしたが、そのようなもので引き上げられたわけではありませんでした。彼は自分の言語で出てきました。彼は立って「アーメン」と言ったり、これらの派手な弓を作ったりはしませんでした。彼は荒野に生々しく荒々しい状態で行きました。「あなたは「私はこれに属し、私はそれに属している」とは思わないでください。神はこれらの石を使ってアブラハムの子供たちを作り上げることが出来る。」と言ったのです。

97 あなたはメソジスト派、バプテスト派、長老派にいるからといって、あなたが神を握っているとは思わないでください。神は、密輸入人や売春婦を通りから連れ出して、神の子たちを彼らから作ることがお出来になります。誰かがそれを聞いて、誰かがそれを信じようとしています。

彼はまた言いました、「斧がすでに木の根もとに置かれているそして、信じないすべての木は切り倒されて火の中に投げ込まれます。」それが彼のメッセージでした。彼はその時代の光でした。

イエスは言われました、「彼は明るく輝く光でした、そしてあなたは少しの間その中に歩きたいと望んでいました。」

そして、預言者であるヨハネは何と言いましたか？「彼はあなたのただ中に今立っておられます。私は彼の靴紐を解くにもふさわしくない。彼が来られたらすぐに、私は去ります」ああ、何という事！なぜなら、彼は光でした。

2つまたは3つの光、4つまたは5つの異なる組織ではありません。一つの光があったのです。メソジスト派、バプテスト派、ルター派、長老派ではありません。キリストが光であり、光こそが命です。そして御言葉の現れは時代の光です。

98 「光あれと言われると、そこに光があった」はい、そうです。「光あれ」と言われると光があるのです！彼はこの時代に光があると語られました、そして光があります。彼は来ています。私はそれを信じています。この時代の約束に目を向けてください。ああ、何と！

これまでに輝いているすべての光、これらの教会の時代を通して、私たちは彼らがどのように...見ていて辛すぎるのです、拒否されていた。黙示録3章、私はここに黙示録3章を書き留めました、そして私はそれを参照していたことが分かっています。

私たちが生きているこの時代の約束を見てください。拒絶された光。彼らは何をしましたか？彼らは過去にそこでも拒否しました。なんで？彼らはまぶしさの中に生きていました。彼らは今日何をしていますか？同じこと。

さて、あなたはクリスチャンですか？「私はルター派です。私はバプテストです。私は長老派です。」

それは何にも意味をなさないのです。あなたは「豚、豚」、またはあなたが自分自身と呼びたい他の何かだったと言うかもしれません。分かりますか？それは、それがその程度を意味するかというところです。さて、いいえ、あなたを無視しませんが、あなたがそれを根本的な部分に持っていれば、それは正しいです。

私は「クリスチャンですか？」と質問しました。それがキリストがあなたの中におられるという事です。そして、キリストがあなたの中にあるなら、みことばはあなたの中にあるのです。そして、みことばがあなたの中にあるなら、光が輝いているとき、あなたはそれからどのように歩み出しますか？ほら、それが問題です。それが今あるのです、光。夕暮れ時の光が輝いています。花嫁の木が咲いています。

99 ああ、覚えておいてください、彼らはその古い木を剪定しました。「かみ食らういなごの残したものは、群がるいなごがこれを食い、群がるいなごの残したものは、とびいなごがこれを食い、とびいなごの残したものは、滅ぼすいなごがこれを食った。」(酔える1:4参照:口語訳)メソジストが残したものをバプテストが食べました。バプテストが残したものをペンテコステが食べました。彼は「この木がありました」とヨエルは「すべては切り株として切り倒されました」と言いましたが、彼はそれが再び生きるかどうか知りたがっていました。ああ、そう！彼はその木をあらかじめ決めておられました。彼はその木が彼の花嫁だったのであらかじめ決めておられたのです。

そして主は言われました、「主が仰せられる、私が贖う」とそれは何ですか？「私はそれを導き出します。ルター派が食べたすべての物、ウエズリアンが食べたものすべて、そしてそれらすべてです。そして、私はそれを贖います。なぜなら、すべてがまだ木の根元にあるからです。」分かりますか？

それは地面に横たわっています。落ちた樹液のように、私とその姉妹について言ったように、そこに横たわっているのです。そして、いつか神のラッパが鳴り響き、彼らはルター派、メソジスト派、バプテスト派の中から組織とは何の関係なく選ばれたのです。

100 ルターは何も組織しませんでした。ムーディーは決して何も組織しませんでした。それは彼の後、リッキーのグループが組織を作ったのです、殻を取ったということなのです。ジョン・スミスは何も組織していませんでした。それらの他ののだれも組織はしませんでした。それはその時代の光でした。ルター、ウェスリー、またはそれらほかの誰も。その後、そのグループがやって来て、組織を作ったのです。

聖霊はペンテコステ(五旬節)で何も組織しませんでした。ペンテコステ(五旬節の聖霊降臨)は経験であり、宗派ではありません。それは何も組織しませんでした。ああ、違います。しかし、ペンテコステであると主張する人はそれを組織しました。それは死にかけている裏にある殻にすぎません。それを紙に押す代わりに、イエス・キリストの完全なイメージを出させなさい。いいえ、彼らは自分自身を引き出したので、彼らはそれに何の関係もないわけです。放っておいてください。

101 しかし、私たちは今、この光、この木、キリストが教会によって再び拒絶されたことを見出しています。なんで？最初に同じ理由で、彼らはそれをしました、ほかの時代の光の偽のまぶしさとして。そして「彼は昨日も今日もいつまでも変わることがない方なのです。」へブル人への手紙13:8に彼がそうだと書かれています。彼はその当時と今も変わられていないのです、というのは、彼は今もその当時されたときと同じことをさ

れているからです。同じ御言葉、それがキリストなのです。

聞いてください、私は今あなたを連れて行きたい、そしてこれを個人的なものにしましょう。わかりません、そのテープについて、今すぐオフにするかどうかをちょっと決めようとしています。そのままにしておきます。分かりますか？[会衆は喜ぶ—編集]

皆さんにお聞きしたいことがあります。さて、これに注意してください。ほら「彼は昨日もいつまでも変わることがない方なのです。」気を付けてみて下さい。彼がした彼の業は、それ自体が現れます。さて、しっかり聞いて下さい。ヨハネ14:12で彼がそこに立ったとき、彼は言われました。「わたしを信じる者は、またわたしのしているわざをするであろう。そればかりか、もっと大きいわざをするであろう。わたしが父のみもとに行くからである。」(ヨハネによる福音書14:12参照:口語訳)今、彼がそう言われました。「天と地は滅びるが、私のことばは滅びることがない。」さて、私たちが最後の時代の終わりにいるとしたら、その「より大きな業」はどこに来るのでしょうか？分かりますか？分かりますか？私たちはここにいます。まだ持っていません…

102 聞いてください、ローマ暦が正しければ、-6…残り36年になります。2000年ごとに、世界は彼女の終わりを迎えるのです。水によって破壊された最初の2000年。次の二千年があって、キリストが来ました。これは1964年に来ています。36年。さて、エジプトの天文学カレンダーでは、私たちは17年外れていると言っています。「それから17年進んでいます」とすると、19年残っているでしょう。

イエスは言われました、「もしその期間が縮められないなら、救われる者はひとりもないであろう。しかし、選民のためには、その期間が縮められるであろう。」私たちはどこにいますか？

103 「私がする業もあなたがたもするであろう。そればかりか、もっと大きいわざをするであろう。」さて、注目してください。よく聞いてください。ひざまづいて私は神があなたの心とあなたの心の理解に開いて、あなたがそれがここで多すぎると言わずに理解できるように祈ります。注目。彼はある日言った…

彼が行った「素晴らしい」業のいくつかを見てみましょう。ほんの2、3のこのために止まりましょう。考えてみましょう。

ある時、彼は「あなたは彼らに食べるものを与えます」と言われました。

彼らは言った、「私たちは何も持っていません。」と

「あなたは何を得たのですか？持っているものを持ってきてください。」と言いました。

そして彼らは言った、「5つの大麦のパンと2匹の魚があります。」

彼は「それらを私に持ってきなさい」と言われました。

そして、彼は5つの大麦パンを取り、パンをさき始めました。そして、元のパンから、彼はパンを作りました。それが5000人を養ったのでした。そうですか？[会衆は「アーメン」と言います。—編集。]それから彼は言いました、そして、彼は魚を手に入れました、「私に魚を持ってきてください」。そもそも一匹の魚から始まったのです。そして彼はその魚を取って次から次へと魚が生み出され、5000人を養ったのです。そうですか？[「アーメン」]

しかし、最後の日に彼は何も持っていませんでした。彼はただ話し、「そこにあるとしましょう」と言い、そこには何もありません。彼はリスは持っていませんでした。そこには何もありませんでした。彼はただ「そこにあれ」言っただけでそこにありました。分かりますか？ああ、彼の言葉は間違いなく、それは成就されなければなりません。

私はあなたがたを揺さぶるようなことをあなたに言うことができます。分かりますか？彼がそこにあると言われた時、そこにあるのです。彼にそれを言わせてください。ほら、まさにその通り。

104 ほら、東洋と、西洋が戻ってきて、東洋に出会いました。それはモーセであり、砂を拾い上げて、「ノミがいるようにしましょう」などと言った、「地上に」。しかし、この終わりの時には、彼は何も取りません。ほら、みことばだけ。「そこにあれ」そしてそこにあるのです。言われていることは、それがそうなるという方法なのです。

私は今夜それらのいくつかのことを証言したいのですが、何が起こったのか、ほら、見てください、あなたが彼がまだ神であることを見るようになります。彼の言葉は…「私がした業をあなたがたもするであろう、それよりも大きな業をするであろう。私は魚を作って魚を作りました。魚を持っている必要すらありません。

せん。」分かりますか？彼はまだ神であり、同じ御子なのです。魚から魚を取り出したのと同じ神の子、それは今日も同じ神の子でいらっしゃいます。

「私がした業をあなたもするであろう。より大きな業をするであろう。」それは拡大されます、「これよりも大きな業をするであろう。」そして人々はそれを見ることを拒否します。ああ！「より大きな業！」

105 偽の光。あのね。実は考えていたことがありました。イギリスについて多く言及してきていましたが、偽りの光について考えていました。ここで、少し前に、あなた方は皆、イギリスがこれまでに犯した最大の強盗を覚えていますよね。それは700万ドルの強盗でした。世界でこれに比較できるようなものはこれまでなかったと思います。最近、700万ドルの大きな強盗、スコットランドヤードでさえそれを検討をつけられません。

あなたは彼らがそれをどのようにしたか知っていますか？偽の光によって。彼らは線路に灯りをつけ、注意させて、それが赤信号になるまで降ろして、彼らを止めました。そして、そこで強盗が起こりました、ちょうどその場ででした。偽りの光が、諸国で今まで知られていた中の最大の強盗をさせることになりました。それは諸国を盗んだことになりました。最大の強盗、最大の強盗は、偽りの光によって行われました。

106 そして、神の教会がこれまでにされた最大の強盗は、偽りの光、まぶしさ、彼らの宗派によるものです。それは聖霊の力から彼らを奪いました。それは教会からまさに生命線を奪い取ったわけです。それが彼らから御言葉を奪ったのです、彼らが御言葉の代わりに信条を受け入れた時にそうなったわけです。それが彼らから御言葉を奪ったのです。

ああ、彼らはみことばを持っていると主張しています。みことばはその時代のために生きています。それ自体で知らせるようにしています。彼らはまた、イエスの時代に、みことばを持っていたと主張しています。しかしそれには「彼らは偉大な光を見た」そしてそれを拒否した。と書かれています。彼らはそれを見ましたが、それを拒否しました。

ああ、偽りの光です、はい、それは教会がこれまで持っていた最大の強盗にさせてしまったのです。冷たい宗派の信条は、兄弟、立証された言葉やその穀物を熟成させることはありません。聖書はイエス様が言われました、「神のことばは、種まく人が蒔いた種である。」分かりますか？そして冷たい信条はその御言葉を熟成させません。いやいや！

寒い吹雪の日は小麦を熟成させません。いいえ、絶対にありえません！そのようなことをするのは神の語られた御言葉だったので、それは陽光の暖かさが必要なわけです。

そして、今日、神について語られたみことばが、イエス・キリストが生きていることを神の聖徒たちを示すために必要となります。ちょうど彼の昨日と同じように、今日の彼もなのです。信条と宗派には絶対にできません。彼らは冷たくて無関心であり、穀物は地面で腐るでしょう。その下からは出てこれないのです。

107 それが理由で今日、我々が持っているものがすることになってしまうのです。偉大なりバイバル論者の我々の尊い兄弟であるビリー・グラハム兄弟のように。神はその人を用いられていると思います。しかし、彼が何をしているのか見てください。バプテスト派と長老派の間に行くわけです。あなたは何をしますか？教会の参加者をたくさん集めたとして。

彼らが最も宗派を持っていたので、南部バプテスト連盟が集まっている場所を見てください、または、彼らの宗派は他のどのプロテスタントよりも成長しましたか？昨年、カトリック教徒が彼ら全員をほぼ全員連れ去ったのです。あなたはそれを新聞で見ましたか？それは確かにありました。心配しないでください、それは彼ら全員を連れて行くでしょう、なぜならそれはバプテストとすべてを一緒に連れて行くからです。そして、それらはすべて一つであり、それを知らないのです。

教会評議会、教会評議会は、それらすべてをまったく同じものにしていきます。宗派を置く…なぜ、なぜここにいるのか、ここにいるのか？これを拒否している限り、どのような違いを齎すのでしょうか？同じ宗派のタグを使用していませんか、ある場所にいるのと同じではないですか？一つは、獣。もう一つはその印なのです。だから、あなたはそこにいるので、何も違いを齎すことはありません。

108 それがサタンがいた場所です。彼は彼の承認の印をつけたのです、そしてそこであなたはそれを受け取ります。そして彼女は皆ホワイトハウス、ワシントンD.C.、そして教会評議会に導いたのです、そしてあなたはそこに行ったわけです。聖職者たちは彼らを真っ先に受け止めました、聖書が彼らがするだろうと言ったそのとおりにです。[ブラナム兄弟が説教壇を6回たたき— 編集。]

何とも、時計がそんなに速く進まなければいいのにと！[会衆は「時間をかけてください」と言います。—編集。]

さて、今私たちがどこにいるかを考えてください。再び拒否された、その時代の約束を見てください。教会がこの終わりの日にした方法とは、宗派のまぶしさを使っているのです！

偽のまぶしさの中に生きていることが熟しない理由なのです。それが、このみことばにおいて奇跡が見えない理由なのです。

109 しばらく前にある司祭が私にインタビューしました、そして彼は「ブランナム先生」と言いました、「あなたはどのようにバプテスマを受けましたか？」とこの教会から出てきたある特定の少女がいました。そして、背教してカトリックの男の子と結婚し、カトリック教会に行きました。そして彼は彼女を教会に連れて行くつもりでした。

私は「クリスチャンのバプテスマで彼女にバプテスマを授けました」と言いました。

彼は言いました、「司教が知りたがっています。」

私は言いました、「分かりましたその通りです。」

「これを誓いますか」と言いました。

私は言いました、「私はまったく誓いません。」そして彼は言いました…「そうです」と彼は言いました、「彼が私の言葉を理解できないのなら、まあ、それは大丈夫です。なぜなら、私は誓いません。聖書は言った、「しかし、わたしはあなたがたに言う。いっさい誓ってはならない。天をさして誓うな。そこは神の御座であるから。また地をさして誓うな。そこは神の足台であるからあなたがたの言葉は、ただ、しかり、しかり、否、否、であるべきだ。私は言いました、「彼は私の言葉を受け入れなければならないでしょう。」

「まあ、あなたが「クリスチャンのバプテスマ」と言った、それは浸礼することは何を意味するのですか？」

私は言いました、「それがクリスチャンのバプテスマが行われる唯一の方法です。」と私は言いました、「私はオハイオ川で彼女にバプテスマを施しました。イエス・キリストの御名によって彼女を水中に連れて行き、彼女を引き上げました。私はクリスチャンの唯一のバプテスマである「主イエス・キリストの御名」で彼女にバプテスマを授けました。」

「はい、そうなんです」と言いました。それをそのように置きました。そして彼は言いました、「おかしい！」と「ご存知のように、カトリック教会はその方法でバプテスマを授けていました。」と言いました。

私は「いつ？」と言いました。

そして彼は言った。先に進んで、議論はしばらく続きました。そして彼は言いました、「まあ、私たちはもとのカトリック教徒です。」

110 そこに本があって、そしてその歴史がそこに置かれていたのを知りながら、私は「それは本当ですが」と言いました。「今日、あなたはなぜそれをしないのですか？」と

彼は言った、「私たちには罪を赦す力があります。」「イエスは弟子たちに、「あなたが犯した罪は誰かにあるいは、彼らに赦された」とは言いませんでした。そして、あなたが保持する罪は誰でも、彼らに保持されますか？」

私は言いました、「はい、そうです。」

彼はそうしました。」彼は言いました、「それで教会に権威を与えませんでしたか？ペテロは教会の頭でした。」

私は言いました、「もし教会がペテロがしたように罪を赦すなら。」私は言いました、「さて、彼らが尋ねたとき、「救われるために私たちは何をしなければならぬのですか？」とペテロは言いました、「悔い改めなさい。そして、あなたがたひとりびとりが罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。」私は言いました、「あなたがそれをするならば、私はあなたと一緒にいきます。」

「ああ」と彼は言いました、「あなたは聖書を弁護しようとしているのです。」

私は言いました、「それが御言葉です。」

彼は「神は彼の教会の中にいます」と言いました。

私は言いました、「神は彼の言葉におられます。「あらゆる人を偽り者としても、神を真実なものとするべきである。」(ローマ人への手紙3:4抜粋参照:口語訳)分かりますか?

111 だから彼が見る方法はありません。しかし、そこに、彼らは暗闇の中に行くわけなのです。そして、何千人ものプロテスタントがそれに陥って言っているのです。ここに居ながら、彼らの信条と物事を採用することによって、まっすぐと落ちて行くのです。みことばがすぐに出て、それを証明し、イエス・キリストがご自身を現されました、「昨日も今日もいつまでも変わることがない方なのです。」その信条のまぶしさの中で、彼らは真っ暗闇に移っていくのです。彼らがノアの時代にしたように、彼らは全ての時代を超えてちょうどしてきたように、彼らは今日、暗闇の中で再びそれをするわけです!なんで?信条が彼らを盲目にしたので、彼らは光を拒絶します。

ああ、私たちが今いるより暗くされた時代なのです!うん!ええ彼らはキリストの真の永遠の光を拒絶します、そしてそれがすることがそれなのです。

112 冷たい宗派が命を神のことばにもたらすことは決してありません。なぜならそれは彼らの宗派に命をもたらすからなのです。私たちは今今まで以上に多くの公認されているクリスチャンがいるのです…ここを見てください、もしクリスチャンなら…

私はこの司祭にこれを尋ねました。「もし…私はあなたと一緒にいきます、カトリック教会が初めはペンテコステにあったのです」ローマのニカイアでのことではありませんでした。教会がローマのニカイアで始まったことはありません。ペンテコステから始まります。分かりますか?エルサレムが教会が始まった場所なのです。しかし、私は言いました…

113 ここで、私はこれらの人々、彼らの奴隷と物、聖霊を得た、彼らの主人が彼らの力と物、彼らが何をしていたかを見たことを認めます。死者をよみがえらせ、異言で話し、悪魔を追い出し、物事を予告する。そして、彼らの中の預言者たちなどは、彼らの周りに羊皮をつけて出てきます。野菜を食べたり、そのニカイア評議会に来たり、なんて素晴らしい人なのでしょう!そして、彼らはそこから出て来て、そのみことばのために立って、そのニカイア評議会に上ります。

しかし、その血にまみれた15日間で、彼らは聖書の教義の、「イエス・キリストの御名によって」、ではなく「父、子、聖霊」を信条として受け入れました。それを通して、これらすべての他の物や同じこととともにそこに生まれたすべてのプロテスタント教会が出てきたわけです。聖霊の誤った概念を 彼らは取り、聖体拝領をして、ワインを飲みました、「それはそれが聖餐であり、それは「聖霊」を意味します。」司祭がそれをあなたに与えます。

114 さて、聖書は「ペンテコステの日が完全に来たとき、そこに襟カラーをつけた司祭がその道にやってきた」とは述べていません、「あなたの舌が舐めて、聖餐を取る」ともいいえ、聖書にはこんなことは書かれていません。「ここに皆、走ってきて、正しい交わりを私に下さい、あなた方、バプテスト派、メソジスト派、バプテスト派、そうしたらあなたの名前をそこに置きましょう。どこから手紙を持ってきてください。」とは言っていません。

彼は言いました、「彼らは皆一つの場所に、一つの思いで集まっていた。突然、激しい風が吹いてきたような音が天から起って来て、一同がすわっていた家いっばいに響きわたった。一同は聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、いろいろの他国の言葉で語り出した。そしてそこに…」彼らは通りに出て行き、マリア、そして彼らの残りの人が聖霊の影響を受けてまるで酔っ払った人のようにして行ったのでした。

だから、人々は彼らを笑って、「あの人たちは新しい酒で酔っているのだ」と言いました。彼らは何だったのですか?信条によって盲目になっていた。

115 ペテロという名前のその小さな2×4の説教者がそこに立っていて、彼は言った、「そこで、ペテロが十一人の者と共に立ちあがり、声をあげて人人に語りかけた。「ユダヤの人たち、ならびにエルサレムに住むすべてのかたがた、どうか、この事を知っていただきたい。わたしの言うことに耳を傾けていただきたい。今は朝の九時であるから、この人たちは、あなたがたが思っているように、酒に酔っているのではない。しかし、聖書がそうなると言っていることをお話ししましょう。これが光です。これが御言葉の顕現なのです。」アーメン。

同じことが今日も起こります、そして彼らはその時していることが好きで、頭を振りながら離れて行ったのです。「彼らをそのままにしておけ。彼らは盲人を手引きする盲人である。もし盲人が盲人を手引きするなら、皆が穴に落ち込むであろう」。(マタイ15:14抜粋参照:口語訳)

116 ああ、それは永遠のいのちであるキリストが、命の言葉を立証され、肉体を取られたものを齎される必要があるのです。ああ、何という事!御言葉を必要とするのです、…御言葉が動くには聖霊が必要です。

イエスが、「全世界に出て行って、すべてのつくられたものに福音を宣べ伝えよ」と言われたとき。さて、マルコ16章、彼の最後の命令を見て下さい。「全世界、全世界」それはまだそこに到達したことはありませんね。「全世界に出て行って、そしてすべてのつくられたものに福音を宣べ伝えなさい。全世界で、「誰でも信じる者はバプテスマを受け、信じる者は救われます。信じない者はのろわれます。そして、これらのしるしが信じるものに従う。」

「彼らは説教者と握手をする…」?いいえ。「彼らは良い教会員になるでしょう」?いいえ。

「わたしの名において、彼らは悪魔を追い出し。新しい言葉で話し。彼らは蛇をとらなければならない。または、致命的なものを飲んででも害を与えない。彼らが病気に手を置いたなら、彼らは癒されるでしょう。」ア一何というすばらしさ!

どこまで行くの?「すべてのつくられたもの。」どれほど?「全世界へ」、彼が再び来るときまで。「これらのしるしが伴う…」「よくよくあなたがたに言うておく。わたしを信じる者は、またわたしのしているわざをするであろう。そればかりか、もっと大きいわざをするであろう。わたしが父のみもとに行くからである。」(ヨハネによる福音書14:12参照:口語訳)

117 どうしてあなたから離れることが出来ましょう。あなたが言われることから。私たちは今、彼らが当時いた時よりもより暗い状態にいます。さて、ここにさらにいくつかの節があります。それから、私はできるだけ早く終わらせて行きたいです…我々は当時の彼らよりもより暗い状態にいます。

私はここで1時間半くらいであなた方を疲れさせてしまっていることを知っています。[会衆は言う、「いいえ!」—編集。]しかし、このテープはそこで現在進行中なのです。分かりますか?分かりますか?

彼らは私たちよりもより深い暗闇の中にいます。私は声明を出しました。なんで?教会は、このまぶしさの中で、とても欺きに満ちていて、それはまるで真理のように見えます。さて、イエス様は言われませんでしたか?マタイ24章を見て行きましょう。マタイ24章で、イエス様は言われました、「終わりの日には、二つの霊が非常に近くなり、もし出来れば、選民をも惑わすようになるであろう。」と終わりの日に、選ばれたグループが教会を作るために出てくるようになるでしょう。そして、これらの組織で、彼らが真理と呼んでいるものを使って、本当の事柄に非常に接近しているため、選ばれてさえたペンテコステの者たちさえも欺くことになりま

す。

118 さて、あなたはあなたがペンテコステ派を連れてメソジスト派またはバプテスト派の教義で彼を欺くつもりはないことを知っています。あなたは彼にそれを言うつもりはありません。彼はもっとよく知っています。そして、あなたもルター派の教義でバプテストをだまそうとはしません。分かりますか?

そして、あなたは子の御言葉の中にあるメッセージを見るためにメッセージを受け取るつもりもありません。ペンテコステ派の教義、偽の「父、息子、聖霊」、そしてこのようなすべてのものによって。その組織のセットアップの中に信条を持っていたのです。いいえ、確かに。選民は欺かれないので、彼らを欺くことはないのです。

それは何ですか?それって何ですか?欺き。これらのまぶしさ、彼らは何をしていますか?彼らはまぶしさによって教会を評議会の虐殺に導きます。それは彼女とローマが一緒に結びつくとき、最後の虐殺になるでしょう。彼らが獣のイメージを形成するとき、それこそが最後の虐殺です。そして今あなたが持っているまぶしさ、それを見て何をするかということ人々をそこへ導いているのです。それは山羊です。

119 山羊は常に羊を屠殺場に連れて行きます。あなたはそれを屠殺場で見ることがあります。その山羊はすぐそこまで走って羊を導き、それから彼は飛び出して羊を入れさせます。それが彼がすることです。彼はいつもそうです。

子羊であるイエスを屠殺に導いたのは山羊だったのです。ローマ人の山羊たち!そうです。

無垢の羊を虐殺に導いたのは、今日の宗派の山羊たちなのです。彼らの自己を置き、彼らの名前を彼らの本の向こうに書けば、彼らはそれで終わるのです。それが獣のしるしです。主の御名で、私は話しています。それは長い間続いているわけです。それは本当です。それはまさにその通りです。獣とは何ですか？獣とは何ですか？それは最初の組織であるローマの階層なのです。その印は何ですか？同じこと、まさに、それとまったく同じことです。虐殺、まぶしさに向けて！

しかし、現在の暗闇に直面していても、私たちはまだ神の光が輝いているのを見てきました。私たちはそのことにとても感謝しています！

よく聞いてください。私たちは、この時代のために彼が約束され、証明され、立証された光、彼の言葉を見てきました。それは真理、その時代のための光なのです。アー何と素晴らしい！とても嬉しいですそこには何も間違いはありません。何もありません。

120 ここ少し前に、あるミニスターが彼がフロリダにいますと言っていました、そして彼は車を持っていました—私はそれがシボレーであったと私は信じていました、そしてそれが彼に問題を齎しました。彼はそれを修正することができませんでした。そして彼はガレージに行きました、そして少し古い整備士がその下とそれを越えて行って、その周りをツツキました。彼はそれを修理しることが出来ませんでした。そして、彼はこれを試しましたが、うまくいきませんでした。そして、彼は別のことを試しましたがそれはうまくいきませんでした。彼は発電機を装着し、これを装着し、プラグを装着し、ポイントを装着しました。彼はその物を動かせるようにはできませんでした。彼はそれを機能させることができませんでした。

最後に、身なりのよい男が立ち上がってきました。彼は言いました、「私はあなたにいくつかのアドバイスをしてもいいですか？」

その小さな整備士は、「はい、お願いします」と言うのに十分な感覚を持っていました。

彼は、「あなたはこれを取って、この時を回り、そしてこれを」と言い、「一度にそれを一緒にしてを試してみてください」と言いました。そして彼はこれで時間を回り、それを一緒にして、そして彼女は動き始めたのでした。

その小さな整備工が振り向いて、「あなたは誰ですか？」と言いました。彼はエンジニアで、ゼネラルモーターズのチーフエンジニアでした。彼がその物を作った人だったのです。それを設計したのは彼でした。

121 そして、今日、メソジスト、バプテスト、長老派について話しているときです。チーフメカニックがここにおられます。彼の言葉の設計者、天と地を創造し、彼の教会を設計した方です！彼は携挙のために何が必要かについてもっと知っているのではないのでしょうか、それともメソジスト教会またはバプテスト教会はそれが何を必要としているのかについてもっと知っているのでしょうか？彼は設計者なのです。彼はそれが何を必要とするかを知っているのです。彼は復活の力にとってもきれいに身を包んでいます。ハレルヤ！今日、彼は復活の力の中で私たちの間を歩んでおられます。

彼は教会を携挙させるために何が必要かを知っておられます。彼がそれを設計し、パーツをここ聖書にまとめられました。アーメン！ただ電流を流すだけで、動作するのを見てください。信仰を今日の彼の約束の言葉に流れさせてください、あなたはそれがどのように機能するか見ることになります。なんで？彼はそれを設計しました。彼は御言葉によって教会を設計しました。それが彼がまとめたものです。メソジスト、バプテスト、長老派、ペンテコステ派の組織によるものではありません。しかし、彼の言葉によってされたのです。「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つの言葉によって生きるのである。」はい、そうです。

122 この我々の生きている闇の時に闇の中にも彼らまぶしさから出て下さい。(あと5分ほどしか時間がありません)暗闇の中で、小さな花嫁を連れ出すのは誰ですか？誰が知っていますか？チーフデザイナー。ああ、そうです。このすべてのまぶしさの混乱から！

ここでは、メソジストが眩惑の1つの方法で、バプテストが別の方法で、長老派が別の方法で、ペンテコステ派が別の方法で、これらすべてはただまぶしいだけなのです。彼らは走り、ここにこのまぶしさの中に彼らの名前を載せます。そこに何かを見つけに来させるためです。そして、ここに来てください。そしてそこに何か。ここに来て…

私とその司祭に言ったように、「もしあなた方全員がその初代の教会にいて、あなた方がこれらの人たちの教義をニカイアに集結させた後に行ったら、なぜあなたは彼らが最初にそこに持っていた力を持ってい

ないのですか？分かりますか？イエス様が言われたように、彼らがしたことをしてみませんか？」

「ああ、私たちは今前よりもっと人がいるのです。私たちは別の時代に生きています。」

私は言いました、「しかし御言葉は変わりません。彼は言われました、「これらのしるしはすべての時代に彼らに従います。天と地は滅びるが、わたしの言葉は決して滅びることはない。」それだけなのです。」

彼は言いました、「まあ、あなたは聖書について話しているのです。」

私は言いました、「はい、みことば、それがキリストなのです。」そうです。そして、あなたはそこにいます。分かりますか？

123 そして、このまぶしさの中で、メソジストは彼らの物を示し、バプテストは彼らの物を示し、長老派の彼らは常にどんどん大きくなっています。

かわいそうな小さな花嫁、彼女はどこにいますか？彼女はここのペンテコステのワンネスにしばらく走りまわりました。彼女はそこに自分の名前を置きました、そして彼女は言いました、まあ…彼らが何をしているのか見つけに来たのです。そして彼らはここにやって来て、「あなたは私たちに属さなければなりません。あなたが私たちの教会に属していないなら、あなたは花嫁でさえありません。あなたは何ものでさえありません。」ここでアセンブリに行き、彼らが何を得たかを見てください。そこにあなたもいたのです。バプテスト派に行ってみて、彼らが得たものを見てください。長老派に行ってみて、

かわいそうな小さな存在には何が起こるのでしょうか？分かりますか？しかし、彼女は出て来ています。心配しないでください。彼女はそこに行くことになっているのです。

124 ある人がここで数年前に言っていました。彼はニューメキシコにいたのだそうです。カールズバッド洞窟の近くでそこで集会を開きました。あなたはそこで彼らの話を聞いたことがあります、素晴らしい…そして彼らは男と彼の妻、そしてたくさんの子供たちを連れてこのエレベーターに行き、ピットの一番下まで行きました。そして、そこに彼らが降りると、彼らはすべての電気を消しました。そして、彼らがすべての明かりを消したとき、それは真夜中の暗闇の中の時でした。

私は彼らにここのこれらの庭でそれをするように頼みました、そして一度そのコロラドで、妻と私はそこに戻っていました。そして、彼らは明かりをつけました。何と、このようにあなたの手を置いた、何も見る事ができませんでした。そしてそこに小さな女の子が立っていて、彼女は「ああ！」と叫び始めました。叫んでいました。彼女、彼女は死ぬほど怖がっていた、それはとても暗かったのです。かわいそうな小さな子はいろいろなところをつかんでいて、どこでもパパ、ママを呼ぶために叫び声をあげようとしていました。彼女はそれにただ我慢できませんでした、とても暗かったのです。彼女はそのような暗闇を見たことがなかったのです。

125 そしてそれが今の状態なのです。そうです。あまりに暗くて、どこに行っているかすらわからないのです。あなたはメソジストに行く、バプテストに行き、長老派に行きます、それはすべて同じことなのです、あの古い死んで腐ったマナをボウフラをのせて食べるのですから。ほら同じことなのです、ある信条があり、「ここにきてこれに参加し、もう一方、それ」、古い信条とすべての事なのです。あなたはその中にキリストを見ることはないのです。分かりますか？ああ、あなたは独善的な人々を見えています、私はそう言うでしょう。多くの素敵な人々がその宗派の中に今いるでしょう。私はそこにいる人々ではなくシステムの事を言っているのです。しかし、それは彼らが食べているものが分かりますよね。彼らにそれについて教えてください！

そして、ここには霊的に新鮮な食べ物があります！

126 そして、そこに立っているこの少女は、彼女の最大の声を使って、ヒステリックになりそうな状態で叫んでいました。小さな花嫁のように。しかし分かりますよね？彼女の小さな兄は叫びました、「小さな妹よ、恐れるな」なぜならば、彼はエンジニアのそばに立っていたからです。「ここに光をつけることができる人がいます」と言いました。

恐れるな、妹よ、光をつけることができる人がここにいます。彼はこのみことばを生かすことができるのです。私たちは彼がどのように来たのかも知りません。彼がいつ来るのかも知りません。私はそれについて何も知りません。しかし、彼はここにいて、光を点けることができるのです。どうやってそれから抜け出すのですか？分かります。しかし、彼はここにいて、光を点ける方は彼なのです。はい、そうです。彼がその方なのです。彼は光です。彼の光を点ける方法というのは彼自身を知らせることだけなのです。まさにその通りです。

それはキリストが彼の光を点滅させるために必要です、それによってすべての闇が散らばります。彼がわけるので。彼は彼の小さな花嫁を引き出しています。「私の名前のために、異邦人の中から人々を連れて行きます。私の名を持っている者たちのために。」彼の名前は何ですか？よしメソジスト、バプテスト、長老派、ルター派ではありません。それはイエス・キリストなのです。そうです。

127 彼は光、真理であり。光なのです、彼には闇はありません。そして、彼は御言葉であるので、彼が入ると暗闇を散らします。御言葉は光です。そうです。なぜなら、彼は語って、「光をあれ。」と言われ、それが光となったみことばでした。彼がこれと語られる時、それはその時代の光です、毎回そうなのです。

今、彼はここにおられます、まぶしさの中にではありません。しかし、人々はまぶしさの中に生きているのです。しかし、彼は立証されたみことばです。彼は絶対に、闇の時代の光なのです。はい、そうです。これらすべての偽りのまぶしさやものは消えていくでしょう。はい、そうです。彼はここにいます。恐れなくてください。光をつけて、彼の約束の言葉。それは生きています。それは…

「わたしを信じる者は、わたしがした業をあなたもするようになる」そして、それは御言葉です。「父が私を送ったように、私もあなたを送ろう。」彼を送った父が彼の中に来ます。あなたを送るイエスがあなたの中に来ます。そして、彼がその時行った業、彼は同じことをします、なぜなら、(なぜ?)御言葉は人間の肉体の中で肉を作られ、それ自体がその時代の光として現れるからです。そこにいるわけです。あります。それは光の中で、光への道をしっかりと示しています。信条や宗派に盲目にされていない賢者は、その光の中を歩きます。アーすばらしい!

128 ここに光を点けることのできる人がいます。よし。彼は何をしますか?この時代のために彼の言葉を立証することによって。この時代のための御言葉を約束された神の御子イエスが今、私たちと一緒にいます。

怖がらないでください。彼らが何をしているかに注意を払わないでください。そうするとあなたは闇の中を歩くこととなります。

賢くなれ。「彼ら賢明なものたちは」とダニエルは言いました、「これらの終わりの時に、彼らの神のために固くたつて物を行うでしょう。」分かりますか?分かりますか?彼が光の中のように、彼らは光の中を歩きます。

心配しないでください。それは暗いかもしれませんが、彼らは私たち全員に強制しようとしているように見えます。これらすべて、あなたは彼らの宣言が出て行くのを見ます。「これらの小さな教会たちや物事は今、出て来なければならぬ入ってくる必要がある。」そうでなければ彼らはあなたを閉じようとしています。彼らはそうさせるつもりなのです。

さて、我々は、今夜、私がこの時間に到達したとき、その本当のハードヒットをしたいと思います。

129 さて、彼らは「もうすぐ終わります。」あなた方は彼らの一員になる費用があります、そしてそうでなければ。あなたは—あなたはそれに夢中になっているか、何もできず、売買すらできないのです。それだけです。あなたは病人のために祈る勇氣はありません。あなたが病気や霊的な事柄を抱えている人に仕えているのを見つけられたら、あなたは連邦法に従い、処刑されます。その通りです。分かりますか?あなたはそれを知っています。そうです。それは彼らの新聞にあります。はい、そうです。だから、あなたはそれを行うことができません、あなたはそのカルトに属さなければなりません。

ブラザー、私に言わせてください。キリストを今すぐ心に留めておくといいでしょう。本当にそれを必要とする時が来るからです。その時まで待つと外れてしまいます。その封印が貼られると、彼女は永久にそこに置かれていることを覚えておいてください。分かりますか?だから、あなたはそれをしないでください。あなたはそれを信じていませんか?あなたは御言葉であるキリストの中に入っていくのです。はい、そうです。

みことばを立証し、それが時代の光であることを示しています。そのようにして我々が彼が光であることを知るやり方なのです、なぜなら、彼はそれ自体が肉体として現れる光だからです。

どうやって知るのですか?彼は神の言葉が肉体を取られた存在だったのです。ほら、神の言葉は、メシアが来たとき、神が何をすることを示し、ご自身を立証されていました。

130 井戸端の女性が言いました、「メシアが来るとき、彼はこれらのことをするでしょう。あなたは私たちにこれらのことを予言するみことばである預言者でなければなりません。」

彼は「私がそれである」と言いました。分かりますか？それで十分でした。約束の御言葉が光を輝かせていました。光があります。

彼女は街にまっすぐ行って言いました、「わたしのしたことを何もかも、言いあてた人がいます。さあ、見に来てごらん下さい。もしかしたら、この人がキリストかも知れません」それだけでした。分かりますか？他の人が何を言ったとしても、彼女はそれが救世主であることを知っていました。

すべての時代において、暗闇の時代において、神は常に闇から光を分ける彼の言葉を持っていたことを覚えておいてください。

彼は、カトリック教会がすべてを持っていたルターの時代にもそれを持っていました。彼はルターを輝く光として送りました、そして、ルターは真実を暗闇から分けました。

そして、ルター派がねじれたとき、彼はジョン・ウェスリーを作りました、そして、彼が光を闇から分けました。

そして、ペンテコステの時代に、ウェスレヤンがすべてを手に入れ、メソジストのすべて騒ぎ立てられ、バプテストと長老派、光を闇から切り離すためにペンテコステ派のメッセージを送りました。

ペンテコステ派は再び即座に暗闇の中に戻りました、彼らの組織は、信条と物事を取りました。

さて、このみことばが立証される時が来ました。彼は初めにしたように、光を送り、みことばを顕現させました、御言葉を送り、それはそれ自体を証明します。光があり、彼はいつも分けているのです。それは今も永遠の小さな光は初めからあり同じなのです。

131 私が言うように、子供たちを見て、私は今時間が5分余分に時間が過ぎてしまいました。しかし、私がこれについて一つだけ言わせてください。

ある人がここにおられるのです。彼らが何を言っても怖がらないでください。私はそれが私が次にどこに移動すべきかわからないところに来るのを見ましたが、彼はいつもそこにいます。決して失敗しない存在、彼はいつもそこにおられます。彼は光をつけることが出来るのです。はい、そうです。あなたが何をしようとしているのかを見てただ彼は待っているのです。彼はいつでも好きなときにスイッチを切り替えることができます。はい、そうです。

光を点けることが出来る人がここにいます。「死の影の谷に宿る人」癌にかかっている人もいれば、宗派の死にかかっている人もいれば、信条の死にかかっている人もいれば、伝統的な死にかかっている人もいれば、すべての種類の死、「そして彼らは素晴らしい光を見てきました。」その時に光を点滅させた人は、最初に「光よあれ」と言ったのと同じ人です。その変わらない神、「昨日も今日もいつまでも」彼は今日ここに今おられるのです。怖がらないでください。彼は光をつけることができます。

迫害が来ても怖がらないでください。そこに光があるという時、彼は彼の民を連れに来たのです。彼女は患難を乗り越えません。彼女は決してそれをしません。彼は彼女はそうはしないとされました。彼女は連れていかれるのです。「どうやって彼らはそれをするのですか、ブラナム兄弟？ひどく暗く見えます！」どんなに暗くなくても、あなたの前にあなたの手を見ることはできません。ただ、ここに光をつけることができる人がいることを覚えておいてください。彼が彼の教会を携挙させるでしょう。

あなたは「まあ、私は正しい…」と言います。

132 ええ、シャドラク、メシャク、アベデネゴは火のついた炉まで来ていましたが、そこに空気を入れられる人がいました。はい、そうです。ペンテコステの日に降りてきたその強烈な強風、彼は再びそれをつけて、彼らからすべてのそよ風、すべての火を扇動しました。そこに人がいました。彼は「第四の男」と呼ばれている人です。

今日ここにその方がおられます。彼は唯一の人です！ハレルヤ！彼は手に光のスイッチを持っています。「死の影の谷に座っていた人々に、大きな光が湧き出たのです」それを拒否しないでください。主の御名によってそれを受け取りなさい。少し頭を下げている間に

私たちは光、美しい光の中を歩きます、
憐れみの露の雫が明るいところに来てください。
昼も夜も私たちの周りを照らし、

イエス、世の光。
 私たちはその光の中を歩きます、それはとても美しい光です、
 それは憐れみの露の雫が明るいところに来ます。
 昼も夜も私たちの周りを照らし、
 イエス、世の光。
 さあ、あなたがたは光の聖徒たちよ、来て、宣言しなさい、
 イエス、世の光。
 すると天の鐘が鳴る
 イエス、光…

何が？立証された御言葉は今日のイエスです。彼はみことばです。
 私たちはこの光の中を歩きます、それはとても美しい光です、
 それは憐れみの露の雫が明るいところに来ます。
 ああ、昼も夜も私たちの周りを照らし、
 イエス、…世の光

133 頭を下げて。今日の立証されたみことばである聖霊の指導の下で、ここで何人の人達がこの光の中を歩きたいのでしょうか？分かりますか？神が今日約束された言葉、それが現れたのを見てください！

それが初めから彼ご自身ではありませんでしたか？彼はみことばでした。御子が生まれました。彼はみことばでした。彼はメシアでした。彼は立証されたみことばでした。ですから、みことば、神ははじめから終わりの事をを語られていました。

今、この時代のための御言葉があり、彼はここでその御言葉を立証しています。

混乱、暗闇、まぶしさの中で、それはまるでそれのように見えますが、それはそうではないのです。信条はそれであるとは証明されません。

134 イエスは言われました、「もし私が神の指で悪魔を追い出したなら、誰が悪魔を追い出したのですか？」彼らは悪魔を追い出さなかった。分かりますか？「しかし、いいえ、もし私が神の指で悪魔を追い出したなら、神の王国があなたの近くに来ているということなのです。」

ああ、手を挙げて考えてみましょう。ゆっくりと今、本当に静かに考えて下さい。
 私たちはこの光の中を歩きます、これはとても美しい光です、
 そして、それは…露の雫のある所に来る

告白してください。今、神を信じなさい。
 昼も夜も私たちの周りを照らし、
 イエス、世の光。
 私たちはこの光の中を歩きます、それはとても美しい光です、
 それは憐れみの露の雫が明るいところに来ます。
 昼も夜も私たちの周りを照らし、
 イエス、世の光。

135 彼らが演奏を続けている間、私は聞きたいのです。すべての時代は同じでした。ノアの時代、光を拒絶した人々は、何をしましたか？神の裁きの中に出て行きました。モーゼの中にあつた、燃える茂みの光の日において、何がパロに起きましたか？死の海に足を踏み入れた。光を見て始めていたにもかかわらずその後拒絶したダタンには何が起きましたか？地割れに足を踏み入れた。それが彼を飲み込みました。すべての時代において、その時代の光の中を歩かなかった人々に何が起きましたか？

いつもそれはイエス様なのです。彼らの時代のイエスでした。それは今日のイエスです。彼はみことばであり、みことばが光を作るからです。それはその時代の光なのです。

今、本当に静かに考えてください。誠実さを持っている中で、あなたは光の中を歩いているかを自分に尋ねてみて下さい？もう一度ハミングしながら。[ブラザー・ブラナムと会衆はハミングを始めます、イエス、世の光—編集。]

…美しい光、
 憐れみの露の雫が明るいところに来ます。

昼も夜も私たちの周りを照らし、
オーイエス、世の光。

それでは、立ち上がりましょう。

136 私は天のお父様がこのメッセージがここにいる人々、そしてそれをテープで聞く人々の心に深く浸透させてくださるよう祈ります。そして、光がみことば、種に出てきて、ここでこれらの異なるまぶしさや組織に植えられたすべてあらかじめ定められていた種が実を産むようになりますように。彼らが「夜に来る」必要があるとしても、彼らがニコデモのように見えるようにして、光に来られるようにしていただきますように。父よ、認めて下さい。

手を使わずに山から切りだされたこの岩について、この大きな問題となりますように。それがこれらの異邦人の王国を地面に押しつぶします、これらすべての王国、霊的な王国、そして自然の王国。そして、その岩が地球全体を覆います。それは浄化活動となるでしょう。その岩が砕ける者は粉のようにされます。その岩に落ちる者はしっかりした土台を持つでしょう。

137 キリストよ、わたしをあなたの僕として、この岩、この御言葉の岩の上で死なせてください。主なる神様、私をダビデとして立たせてください、そしてダビデのために立っていた彼ら古の戦士たちとして、今日、私がこの言葉を、宗派によって拒絶されているのを見ている間、私に立たせてください。それはこのどこかの小さな隠れ家に横たわっています。神よ、私は…我々が力と勇気そして聖霊を持ち、そのどんどん暗くなっている時間のために立ち上がる事が出来るように認めて下さい。

しかし、私たちは常にあなたが光をつけるために存在していることを覚えておかせてください。あなたが望むどんな時代においても、あなたは光を変えることができます、父よ。だから私たちは祈ります…

あなたが言われたように、「あなたがたは世の光です。」主よ、あなたの奉仕にある私たちの光が他の人たちに非常に明るく輝き、彼らが私たちがそれによって生きるとき、彼らがイエスの命を彼らに反映して、福音の光を毎日見るように地上にいたキリストとして。謙遜さとやさしさに満ちていながら、みことばが彼を通して生きてい来ているようにするのを認めて下さい。主よ、それを認めてください。

なぜなら、私たちはあなたをスイッチを手を持っている素晴らしい方見続けているからです。あなたは全世界をあなたの手を持っておられるのです。あなたはすべてのものをあなたの手を持ち、あなたの御言葉によって世界を支えておられます。

父よ、御言葉を受け取らせてください 主よ、お願いします。それをここにいるすべての人びとの証と望みにしてください。

父よ、これらの賛美歌を歌うとき…ダビデが賛美歌を歌ったとき、彼らは預言になりました。それらは預言でした、あなたがそれらを預言として認識されていました。主よ、私たちがそれを歌うとき、私たちが「この光の中を歩きます」と歌うとき、それも私たちの心の中にあるようにさせてください。主よ、そのようにさせてください。

これは美しい光です。それは御言葉です。それは私たちの間に宿られるキリストなのです。過去の彼ではなく、今の彼そして私たちは彼が何であったかを知っています彼は何であるかを反映していました。そして、父よ、人々がこの美しい光の中で理解し、歩むことを私たちは祈ります。イエスの御名で尋ねます。

138 そして、私たちが少しの間立っている間、皆さんに歌って欲しいのです。

今ここには長老派、メソジスト派、カトリック教徒がいます。宗派に関しては、これは混ぜ合わせられた聴衆です。

さて、覚えておいてください、私がこれらのまぶしさの人々に敵対して話してはいいことを知らせたいのです。しかし、私は聖書に対して、彼らがギラギラ(まぶしさである)していることを証明しました。そうでなければ、キリストは彼らと約束したようにして下さったでしょう。分かりますか?しかし、彼らはそれを拒絶するのは分かりますか?そして、そこに着いたとき、あなたは何かを見つけるのでしょうか?「教会に加わり、信条を唱えなさい。」そして、それから何が出てくるのですか?道の終わりに来て、あなたはそれが偽りの蜃気楼であったことがわかります。

キリストはみことばです。彼は光です。あなたが生きることが出来る間、今生きて下さい。あなたは何かの

ために生きています。

139 あなたは何のために生きていますか？だからあなたは死ぬことができます。みなさん、何のために働いていますか？食べるために。何のために食べているのですか？生きるために。あなたは何のために生きていますか？死ぬために。

それでは、なぜ生きるために生きないのでしょうか？生きてるために生きてみませんか？そして、あなたが生きることができる唯一の方法はみことばを受け入れることです。なぜなら、「人はパンだけで生きるのではない」、私たちが眉の汗とともにここで明らかにしたことは、「しかし、神の口から来る一つ一つの言葉によって生きるのである」ということだからです。さて、神の口の言葉は私たちの目の前で聖霊によって立証されています。それによって生きてくださいね？

140 さて、私はこれをもう一度歌いながら、一人一人が私たちの場所に立って、手を伸ばして誰かの手を握って、「兄弟、この光の中を歩こう」と言いながら、光の中を歩もうを歌いましょう。そうしてくれますか？私たちが一緒に歌う間、手を合わせながらお互いのために祈ります。できるだけ目を閉じて。

私たちは光の中を歩きます、とても美しい光、
それは憐れみの露の雫が明るいところに来ます。
昼も夜も私たちの周りを照らし(それは誰ですか?)
イエス、世の光。

それでは、手を挙げましょう。

私たちは光の中を歩きます、それは美しい光です、
憐れみの露の雫が明るいところに来る。
昼も夜も私たちの周りを照らし、
オー、イエス、世の光。
来て、あなたがた光の聖者たちはみな、宣言します(それは何ですか?)
イエス、世の光。
すると天の鐘が鳴ります
イエス、世の光。

さあ、みんなで歌いましょう。

私たちは光の中を歩きます、そしてそれは美しい光です、
憐れみの露の雫が明るいところに来られる。
昼も夜も私たちの周りを照らし、
イエス、世の光。

141 今頭を下げて下さい。イスラエルが旅に出ていて、毎日新しいマナを食べていたとき、彼らは火の柱の光の中を歩いていたことを覚えていますね。その火の柱はイエス・キリストでした。聖書がそうであったと言っているのです。そして今日、彼は私たちと共にいらっしゃるのですだから、私たちがそれを持っています。私たちは、彼が私たちと共にいて、火の柱と同じように、彼が地上にいたときに彼がしたことと同じことをされ、彼の言葉を成し遂げることを知っています。

ここから出て行くとき、家に帰るとき、ハミングをしながらも、その歌を心に留めておきましょう。あなた方が夕食を食べる前に、頭を下げて、あなたの肉体のために、地球に食物をもたらすために光を送られている神に感謝してください。それから、彼が魂に食物を与えるかもしれない霊的な光、彼の御言葉を送られていることを神に感謝してください。「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出るひとつひとつの言葉によって生きるのである。」

この賛美歌をあなた自身に、あなたの家で、あなたの人々の間で歌い続けてください、そして今夜、プレイヤーカードなどのためにここでも6時半ころまたお会いしましょう。それではまたお会いしましょう。それまでは頭を下げて祈っていて下さい。

牧師であるネビル兄弟にここに上がってきていただいて、祈りの言葉で解散していただけるように尋ねるつもりです。



www.messagehub.info

伝道者

ウィリアム・マリオン・ブランナム

"...第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には..." 黙示録 10:7